

生産環境経営学部生産環境経営学科 カリキュラム・マップ

卒業単位：129単位

<p>【養成する人材像】 多彩で高品質な農林産物を生産する本県農林業の基盤である栽培、林業、畜産の各分野の経営を牽引していくことができる高度な実践力と豊かな創造力を備え、各分野の経営体において中核を担う人材であるとともに、自らが農林業を営む農山村の自然環境や景観の保全、伝統・文化の継承などについて学び、農山村の地域社会における将来のリーダーとして、それらを守り育てていくことができる人材</p>	<p>●必修 ◎コース必修 ○選択必修 (自)自由科目 ■実験・実習 ※再掲</p>
--	--

<p>【ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力】 (1)専門分野のみにとわれない幅広い知識やコミュニケーション能力及び価値観の相違や多様性を理解し多面的に物事を考える素養を有している。 (2)栽培・林業・畜産の各分野において経営体の大規模化や経営の多角化に対応していくための経営管理能力や、経営の対象とする農林産物に対応した加工・流通・販売などに関する知識を有している。 (3)農作物栽培、木材生産、家畜飼養など、栽培・林業・畜産の各分野における生産現場の状況を的確に把握するための、生産に関する知識・技術や生産に活用される先端技術に関する知識を有している。 (4)農山村の地域社会における将来のリーダーとして、各分野の経営を通じて形成される農山村地域の環境を守り育てていくための農山村の自然環境や景観の保全、伝統・文化の継承などに関する知識を有している。 (5)農山村の地域資源を活用することにより、各分野の経営における新たな事業展開を生み出すための手法を理解している。 (6)修得した専門知識と技術を駆使して各分野の経営における課題を探索し、解決に必要な情報を収集・分析・整理するとともに、分析・整理した結果を表現できる能力を有している。</p>
--

<p>【カリキュラム・ポリシー】 (1)ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を修得させるため、栽培、林業、畜産の各分野の経営体において中核を担うために必要な知識や、農山村の地域社会をリーダーとして支えていくために必要な知識などを身に付けるための科目群を、講義、演習、実習等を効果的に組み合わせ編成する。 (2)栽培、林業、畜産の各分野に対応した3コース制とし、2年次から栽培コース、林業コース、畜産コースに分かれて、自らが選択したコースの専門的な知識・技術に関する科目を履修する。各分野に関連・共通する知識・技術については、2年次以降も共通で履修することとし、栽培、林業、畜産の3分野に対応したコース別の履修科目と、4年間を通じて配置する分野横断的な共通の履修科目を適切に組み合わせ教育課程を編成する。 (3)少人数教育や実習・演習を重視した教育課程により、栽培、林業、畜産の各分野の経営における高度な実践力や、各分野に関連・共通する知識を活用して経営に新たな事業展開を生み出すことができる豊かな創造力を養成するとともに、農山村の地域社会をリーダーとして支えていくための農山村の環境、景観、伝統・文化などに関する知識を修得させる。 (4)成績評価は、学生の基礎的・基本的な知識に加え、技能習熟度や主体的に学習に取り組む態度、問題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の学習成果を評価基準として行う。また、学生が主体的かつ充実した学習効果を挙げることができるようGPA制度を活用する。</p>

科目	教育課程											
	1年		2年		3年		4年					
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎 (20単位)	■一般教養(10~12単位)		■一般教養(10~12単位)		■一般教養(10~12単位)		■一般教養(10~12単位)		■一般教養(10~12単位)		■一般教養(10~12単位)	
	●静岡学 2 ●経済学概論 2 ●情報処理基礎 1 法学概論 2 ※ここから4単位以上	●社会学概論 2 ●政治学概論 2 ●統計学 2	●情報処理応用 1 ●歴史学概論 2 ●文学概論 2 (自)文明論	●(自)茶道 ●(自)華道								
職業専門 (85単位)	■コミュニケーション・スキル(8~10単位)		■コミュニケーション・スキル(8~10単位)		■コミュニケーション・スキル(8~10単位)		■コミュニケーション・スキル(8~10単位)		■コミュニケーション・スキル(8~10単位)		■コミュニケーション・スキル(8~10単位)	
	●コミュニケーション論 2 英語 I 2 ※ここから4単位以上 ●保健体育 I 2	英語 II 2	英語 III 2 (自)英語 IV	●(自)英語 IV	●保健体育 II 2							
職業専門 (85単位)	■経営管理(25単位)		■経営管理(25単位)		■経営管理(25単位)		■経営管理(25単位)		■経営管理(25単位)		■経営管理(25単位)	
	●農林業経営学 2 (自)簿記基礎	●経営管理論 2 (自)簿記応用 (自)フードシステム論	●経営戦略 2 ●財務会計 2	●マーケティング論 2 ●労務管理 2	●管理会計 1 (自)農林業の経営組織論	●人材マネジメント 2 (自)農と食の起業論 (自)知的財産権	●経営実習 I 5 ●経営実習 II 5		●経営実習 I ※ 5 ●経営実習 II ※ 5		●経営実習 I ※ 5 ●経営実習 II ※ 5	
職業専門 (85単位)	■加工・流通・販売(8単位)		■加工・流通・販売(8単位)		■加工・流通・販売(8単位)		■加工・流通・販売(8単位)		■加工・流通・販売(8単位)		■加工・流通・販売(8単位)	
	<共通> <栽培コース・畜産コース>		(自)食品科学 (自)農と食の健康論		●販売管理実習 2 ◎食品加工実習 2 ◎食品流通論 2 (自)収穫後生理学		●6次産業化実践論 2					
職業専門 (85単位)	■農林業基礎(10単位)		■農林業基礎(10単位)		■農林業基礎(10単位)		■農林業基礎(10単位)		■農林業基礎(10単位)		■農林業基礎(10単位)	
	●農学概論 2 県内農林業事情 2 分子生物学 2 農林業政策 2 (自)農林業のための生物学 (自)農林業のための基礎数学 (自)農林業のための化学	●環境と農林業 2 生命科学 2 野生鳥獣管理・利用論 2 農林業史 2	●農業気象学 2 ※ここから4単位以上 (自)県外農林業事情	●技術者倫理 2 (自)海外農林業事情								
職業専門 (85単位)	■生産理論(16単位)		■生産理論(16単位)		■生産理論(16単位)		■生産理論(16単位)		■生産理論(16単位)		■生産理論(16単位)	
	<共通> ●農林業生産理論 2		●農林業のための先端技術 2 ●環境保全型農林業論 2		●(自)園芸学各論 2							
職業専門 (85単位)	■生産技術(26単位)		■生産技術(26単位)		■生産技術(26単位)		■生産技術(26単位)		■生産技術(26単位)		■生産技術(26単位)	
	<共通> ●総合実習 2		●GAP演習 2 ●大型機械実習 I 2		(自)大型機械実習 II 2							
職業専門 (85単位)	<栽培コース>		◎作物学 2 ◎植物病理学 2 ◎土壌肥料・植物栄養学 2		◎園芸学 2 ◎応用昆虫学 2 (自)植物遺伝育種学概論 2		◎生産マネジメント実習 I (栽培) 4 ◎生産マネジメント実習 II (栽培) 4 ●企業実習 10					
	<林業コース>		◎森林計画・政策論 2 ◎造林学 2 ◎森林土壌学 2		◎木質科学概論 2 ◎木材生産システム 2		◎生産マネジメント実習 I (林業) 4 ◎生産マネジメント実習 II (林業) 4 (自)林業機械実習 ●企業実習※ 10					
職業専門 (85単位)	<畜産コース>		◎飼料総論 2 ◎家畜飼養学 2 ◎家畜生理解剖学 2		◎家畜繁殖学 2 ◎家畜衛生学 2 (自)人工授精論 2		◎生産マネジメント実習 I (畜産) 4 ◎生産マネジメント実習 II (畜産) 4 ●企業実習※ 10					
	■農山村の伝統・文化及び地域社会(20単位)		■農山村の伝統・文化及び地域社会(20単位)		■農山村の伝統・文化及び地域社会(20単位)		■農山村の伝統・文化及び地域社会(20単位)		■農山村の伝統・文化及び地域社会(20単位)		■農山村の伝統・文化及び地域社会(20単位)	
●農山村田園地域公共学 2		●農村社会論 2	●農と食の哲学 2	●食文化論 2 ●医福食農連携論 2 ●農山村デザイン演習 2	●農村景域論 2 ●グリーン・ツーリズム論 2 ●在来作物学 2	●コミュニティビジネス論 2						
総合 (4単位)	■総合的思考能力(4単位)		■総合的思考能力(4単位)		■総合的思考能力(4単位)		■総合的思考能力(4単位)		■総合的思考能力(4単位)		■総合的思考能力(4単位)	
							●経営分析演習 I 1 ●経営分析演習 II 1		●プロジェクト研究 2			

養成部1年	養成部2年	研究部1年	研究部2年
-------	-------	-------	-------

区分		養成部1年		養成部2年		研究部1年		研究部2年	
教養科目		教養基礎、体育 基礎英語、英会話 経済学、心理学 社会学、生物学							
全学科共通科目		農林業経営、農林業政策 ○作物、○農林業汎論 マーケティング論、特別講義 情報処理Ⅰ・Ⅱ、 情報処理演習 簿記Ⅰ・Ⅱ 農業気象、環境科学 国際関係論、経営分析・設計 農畜産物加工、国際政治論 フワデザイン、造園							
専門科目	園芸学科	野菜コース 植物生理 農薬概論 農業機械基礎	○野菜概論Ⅰ・Ⅱ	○園芸施設と経営 園芸病害虫と土壌飼料 農業経営研究講座 園芸流通	野菜栽培と育種 ○各種特論				
	園芸学科	花きコース 植物生理 農薬概論 農業機械基礎	○花き概論Ⅰ・Ⅱ	農業経営研究講座 園芸流通	花き栽培と育種 ○各種特論				
	茶業学科	○生物工学Ⅰ・Ⅱ ○植物防疫Ⅰ・Ⅱ ○土壌肥料Ⅰ・Ⅱ ○営農ゼミ	○茶栽培Ⅰ・Ⅱ ○茶加工Ⅰ・Ⅱ ○手もみ技術Ⅰ	○茶樹育種、○茶樹栽培Ⅰ・Ⅱ ○茶製造、○茶業土壌肥料 ○茶樹病害虫、手もみ技術Ⅱ ○各種茶、茶業経営、 茶業流通、各種特論					
	果樹学科		果樹栽培基礎Ⅰ・Ⅱ 果樹栽培実習Ⅰ・Ⅱ	○果樹育種、○果樹栽培 ○果樹土壌肥料、○果樹病害虫 ○果樹施設環境生理、 果樹経営、果樹経営分析、 果樹流通加工、各種特論					
	畜産学科	大家畜コース 畜産概論 畜産法規 ○家畜生理解剖 畜産加工論 飼料総論 畜産環境論 ○家畜育種繁殖Ⅰ・Ⅱ ○家畜衛生 ○畜産堆肥利用論 ○家畜飼養Ⅰ・Ⅱ	畜産経営 ○乳牛飼養管理、○肉牛飼養管理 家畜管理実習、○繁殖 ○環境保全、○飼料生産調整 流通加工、○各種特論	中小家畜経営、中小家畜施設 飼養管理、○繁殖育種 ○衛生疾病、栄養生理 ○環境保全、○流通加工 中小家畜飼養、○各種特論					
林業学科	○森林・林業基礎 ○木材利用Ⅰ・Ⅱ ○測樹 林業経営Ⅰ ○育林Ⅰ・Ⅱ ○特用林産Ⅰ・Ⅱ ○林業機械 ○伐木集運材Ⅰ ○森林測量、○森林情報	○森林保護、○環境保全 ○木材利用Ⅲ・Ⅳ 林業経営Ⅱ ○育林Ⅲ・Ⅳ ○特用林産Ⅲ ○伐木集運材Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ○林業特論Ⅰ・Ⅱ							
アグリビジネス学科		農業経営学 マネージメント演習 企業法人研修 マーケティング論 開発商品事例研究 農畜産物加工論 商品化実践実習Ⅰ 流通研究 農業機械実習 ◎インターシップⅠ		農業会計学 経営特別講座 就農演習 商品化実践演習Ⅱ Web活用研究 Web実践実習 ◎インターシップⅡ		農学研究 植物生理学 土壌肥料学 植物病理学 応用昆虫学		海外派遣研修	
		地域活性化論、 地域活性化プロジェクト プロジェクトゼミⅠ プロジェクト実習Ⅰ プロジェクト演習Ⅰ		農林事務所学習 プロジェクトゼミⅡ プロジェクト実習Ⅱ プロジェクト演習Ⅱ					
				◎大型機械実習		◎先進経営研修		卒業論文	

凡例
○…「生産理論を学ぶ講義」と「生産技術を身につける実習」が一体となった科目
◎…臨地実務実習

生産科学科 カリキュラム・マップ

【養成する人材像】
 ○多彩で高品質な農林産物を生産する本県農林業の基盤である栽培、林業、畜産の各分野の生産を牽引していくことができる実践力と創造力を備え、各分野の生産現場においてリーダーとなる人材であるとともに、自らが農林業を営む農山村の自然環境や景観の保全、伝統・文化の継承などについて学び、農山村の地域社会を支える生産者として、それら

- 必修
- 選択必修
- ◎ コース必修
- 実験・実習

【ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力】

- (1) 社会人に求められる知識を有するとともに、社会において他者と円滑にコミュニケーションをとることができる素養を有している。
- (2) 農作物栽培、木材生産、家畜飼養など、栽培、林業、畜産の各分野における生産現場の生産性向上等を図るための、生産に関する知識・技術や生産に活用される先端技術を生産現場へ導入する能力を有している。
- (3) 農山村の地域社会を支える生産者として、農林業の営みを通じて形成される農山村地域の環境を守り育んでいくための農山村の自然環境や景観の保全、伝統・文化の継承などに関する基礎的な知識を有している。
- (4) 農山村の地域資源や生産する農林産物に対応した加工・流通・販売などに関する知識を活用し、栽培、林業、畜産の各分野において生産物の付加価値向上を図るための手法を理解している。
- (5) 修得した専門知識と技術を駆使して栽培、林業、畜産の各分野の生産現場における課題を探索し、解決に必要な情報を収集・整理する手法を理解している。

【カリキュラム・ポリシー】

- (1) ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を修得させるため、栽培、林業、畜産の各分野の生産現場においてリーダーとなるために必要な知識や、農山村の地域社会を生産者として支えていくために必要な知識などを身に付けるための科目群を、講義、演習、実習等を効果的に組み合わせて編成する。
- (2) 栽培、林業、畜産の各分野に対応した3コース制とし、1年次後半から栽培コース、林業コース、畜産コースに分かれて、自らが選択したコースの専門的な知識・技術に関する科目を履修する。各分野に関連・共通する知識・技術については、1年次後半以降も共通で履修することとし、栽培、林業、畜産の3分野に対応したコース別の履修科目と、2年間を通じて配置する分野横断的な共通の履修科目を適切に組み合わせて教育課程を編成する。
- (3) 少人数教育や実習・演習を重視した教育課程により、栽培、林業、畜産の各分野の生産における実践力や、各分野に関連・共通する知識を活用して生産物の付加価値向上を図ることができる創造力を養成するとともに、農山村の地域社会を生産者として支えていくための農山村の環境、景観、伝統・文化などに関する基礎的な知識を修得させる。

科目	教育課程									
	1年					2年				
	春期	夏期	秋期	冬期	単位	春期	夏期	秋期	冬期	単位
基礎 (10単位)	■一般教養(10単位) ●静岡学 2 ●情報処理演習 2 ●分子生物学 2 ●コミュニケーション論 1 ○英語基礎 1 ○英語応用 1 ●保健体育 2 (自由)簿記基礎 (自由)簿記応用									
	■農林業基礎(7単位) ●農学概論 2 ●農林業のための科学 1 農林業史 2 県内農林業事情 2 畜産と農業関連法 2 野生鳥獣管理・利用論 2 農林業政策 2 ※ここから4単位以上 (自由)県外農林業事情					(自由)海外農林業事情				
職業専門 (46単位)	■生産理論(14単位) <共通> ○植物生理生態学 2 ○樹木・組織学 2 ○畜産概論 2 ※ここから2単位以上 <栽培コース> ※ここから2単位以上 ◎土壌肥料・植物栄養学 2 野菜栽培 2 ◎植物保護 2 花き栽培 2 ◎作物栽培 2 茶栽培 2 ◎植物遺伝育種学概論 2 果樹栽培 2 <林業コース> ◎森林計画学 2 ◎森林土木論(治山・林道) 2 ◎造林学 2 ◎木材生産システム 2 ◎植物遺伝育種学概論* 2 ◎森林生態学 2 <畜産コース> ◎飼料総論 2 ◎家畜育種繁殖 2 ◎家畜飼養 2 ◎家畜衛生学 2 ◎家畜生理解剖 2 (自由)畜産法規 2					◎施設園芸 2 ◎先端栽培技術 2 ◎環境保全型農業論 2 ◎木材生産システム 2 ◎森林生態学 2 (自由)人工授精論 ◎畜産環境・堆肥利用論 2				
	■生産技術(25単位) <共通> ●総合実習 2 <栽培コース> ◎圃場実習Ⅰ(野菜) 4 ◎圃場実習Ⅰ(花き) 4 ◎圃場実習Ⅰ(茶) 4 ◎圃場実習Ⅰ(果樹) 4 <林業コース> ◎演習林実習Ⅰ 4 <畜産コース> ◎圃場実習Ⅰ(畜産) 4					<野菜①> ◎圃場実習Ⅱ(野菜) 6 ●企業実習 10 ●大型機械実習 2 ●GAP演習 1 ※野菜①と野菜②に分かれる。 <野菜②> ●企業実習* 10 ◎圃場実習Ⅱ(野菜)* 6 ●GAP演習* 1 ●大型機械実習* 2 ◎圃場実習Ⅱ(花き) 6 ●企業実習* 10 ●GAP演習(再) 1 ●大型機械実習* 2 ◎圃場実習Ⅱ(茶) 6 ●企業実習* 10 ●GAP演習* 1 ●大型機械実習* 2 ◎圃場実習Ⅱ(果樹) 6 ●企業実習* 10 ●GAP演習* 1 ●大型機械実習* 2 ◎演習林実習Ⅱ 6 ●企業実習* 10 ●大型機械実習* 2 ●GAP演習* 1 圃場実習Ⅱ(大家畜) 6 ●企業実習* 10 ●GAP演習* 1 圃場実習Ⅱ(中小家畜) 6 ●大型機械実習* 2				
展開 (10単位)	■農山村の伝統・文化及び地域社会(2単位) <共通> ●農山村田園地域公共学 2					●農山村田園地域公共学 2				
	■加工・流通・販売等(8単位) <栽培コース> 食品科学 2 食品加工演習 2 食品加工演習* 2 アグリフードシステム論 2 ◎農業経営 2 <林業コース> ◎木材加工演習 2 ◎林業経営 2 <畜産コース> 食品科学* 2 食品加工演習* 2 食品加工演習* 2 アグリフードシステム論* 2 ◎畜産経営 2					※いずれか1回 ●マーケティング・販売演習 2 ●マーケティング・販売演習* 2 ●マーケティング・販売演習* 2 アグリフードシステム論* 2 農と食の健康論 2 ◎流通加工論 ◎流通加工論* ◎流通加工論* 2 ※いずれか1回 ●マーケティング・販売演習* 2 ◎木材利用・流通論 2 ●マーケティング・販売演習* 2 ●マーケティング・販売演習* 2 (自由)畜産経営演習(大家畜) 2 農と食の健康論* 2 (自由)畜産経営演習(中小家畜) ◎流通加工論* 2				
総合 (2単位)	■プロジェクト研究(2単位) <共通> ●プロジェクト研究 2					●プロジェクト研究 2				

*は再掲

静岡県立農林環境専門職大学教員定年規程（案）

年 月 日

（趣旨）

第1条 この規程は、教育公務員特例法（昭和24年法律第1号）第8条第1項の規定に基づき、静岡県立農林環境専門職大学の教授、准教授、講師（常時勤務の者に限る。）及び助教（以下「教員」という。）の定年等に関し必要な事項を定めるものとする。

（定年）

第2条 教員の定年は、年齢65年とする。

（定年による退職）

第3条 教員は、定年に達したときは、定年に達した日以後における最初の3月31日に退職する。

附 則

1 この規程は、年 月 日から施行する。

2 2020年4月1日から2024年3月31日までに教員として採用された者であって、2020年3月31日において62歳以上のものに対する第2条の規定の適用については、同項中「年齢65年」とあるのは、「2020年3月31日における当該教員の年齢の年数に4年を加えた年齢の年数」とする。

科目区分		1年前期	単位	1年後期	単位	2年前期	単位	2年後期	単位	3年前期	単位	3年後期	単位	4年前期	単位	4年後期	単位	科目 区分 別単 位数
基礎科目	一般教養	必修 経済学概論	2	統計学	2			文学概論	2									10
		必修 情報処理基礎	1					必修 情報処理応用	1									
		必修 静岡学		1	1													
基礎科目	コミュニケーション・スキル	英語 I	2	英語 II	2	英語 III	2											10
		必修 コミュニケーション論	2															
		必修 保健体育 I		1	1													
職業専門科目	農林業基礎	必修 農学概論	2	必修 環境と農林業	2	農業気象学	2			必修 技術者倫理	2							10
	生産理論			必修 農林業生産理論	2	選必 植物病理学	2	選必 応用昆虫学	2	必修 農林業のための先端技術	2							16
						選必 作物学	2	選必 園芸学	2	必修 環境保全型農林業論	2							
						選必 土壌肥料・植物栄養学	2											
	生産技術	必修 総合実習		1	1	選必 圃場実習(栽培)	2	選必 生産マネジメント実習 I(栽培)	4		必修 企業実習	10						26
						必修 GAP演習	2			必修 生産マネジメント実習 II(栽培)		2						
	加工・流通・販売									必修 販売管理実習	2	必修 6次産業化実践論	2					8
										必修 食品流通論	2							
										選必 食品加工実習	2							
	経営管理	必修 農林業経営学	2	必修 経営管理論	2	必修 財務会計	2	必修 マーケティング論	2	必修 管理会計	1	必修 人材マネジメント	2	必修 経営実習 I	5	必修 経営実習	5	25
						必修 経営戦略	2	必修 労務管理	2									
展開科目	農山村の伝統・文化の継承、地域資源	必修 農山村田園地域公共学	2	必修 農村社会論	2	必修 農と食の哲学	2	必修 食文化論	2	必修 農村景域論	2							20
								必修 医福食農連携論	2	必修 在来作物学	2							
								必修 農山村デザイン演習	2	必修 グリーン・ツーリズム論	2	必修 コミュニティビジネス論	2					
科総目合														必修 経営分析演習 I	1	必修 経営分析演習 II	1	4
														必修 プロジェクト研究		1	1	
セメスター別単位数		18		15		22		21		21		18		7		7		129

科目区分		1年前期	単位	1年後期	単位	2年前期	単位	2年後期	単位	3年前期	単位	3年後期	単位	4年前期	単位	4年後期	単位	科目 区分 別単 位数
基礎 科目	一般教養	必修 経済学概論	2	政治学概論	2	歴史学概論	2	必修 情報処理応用	1									10
		必修 情報処理基礎	1	必修 静岡学	1													
基礎 科目	コミュニケーション・スキル	英語 I	2	英語 II	2													10
		必修 コミュニケーション論	2	必修 保健体育 I	1													
職業 専門 科目	農林業 基礎	必修 農学概論	2	必修 環境と農林業	2					必修 技術者倫理	2							10
		農林業政策	2	野生鳥獣害管理・利用論	2													
		生産理論		必修 農林業生産理論	2	選必 森林計画・政策論	2	選必 木質科学概論	2	必修 農林業のための 先端技術	2							16
				選必 造林学	2	選必 木材生産システム	2	必修 環境保全型農林業論	2									
		生産技術	必修 総合実習	1	選必 演習林実習	2	選必 生産マネジメント 実習 I (林業)	4			必修 企業実習	10						
				必修 GAP演習	2	必修 生産マネジメント 実習 II (林業)	2											
	加工・流通・販売					選必 木材利用・流通論	2	必修 販売管理実習	2	必修 6次産業化実践論	2							8
						選必 木材加工実習	2											
	経営管理	必修 農林業経営学	2	必修 経営管理論	2	必修 財務会計	2	必修 マーケティング論	2	必修 管理会計	1	必修 人材マネジメント	2	必修 経営実習 I	5	必修 経営実習	5	25
		必修 農山村田園地 域公共学	2	必修 農村社会論	2	必修 農と食の哲学	2	必修 食文化論	2	必修 農村景域論	2							20
						必修 医福食農連携論	2	必修 在来作物学	2	必修 グリーン・ツーリズム論	2							
科総 目合												必修 経営分析演習 I	1	必修 経営分析演習 II	1			4
												必修 プロジェクト研究		1			1	4
セメスター 別単位数		18		17		21		22		19		18		7		7		129

科目区分		1年前期	単位	1年後期	単位	2年前期	単位	2年後期	単位	3年前期	単位	3年後期	単位	4年前期	単位	4年後期	単位	科目 区分 別単 位数
基礎 科目	一般教養	必修 経済学概論	2	社会学概論	2			必修 情報処理応用	1									10
		必修 情報処理基礎 法学概論	1 2	必修 静岡学	1													
基礎 科目	コミュニケーション・ス キル	英語 I	2	英語 II	2	英語 III	2											10
		必修 コミュニケー ション論	2	必修 保健体育 I	1													
職業 専門 科目	農林業 基礎	必修 農学概論	2	必修 環境と農林業 生命科学	2 2			必修 技術者倫理	2									10
	生産理論			必修 農林業生産理論	2	選必 飼料総論	2	選必 家畜育種繁殖学	2	必修 農林業のための 先端技術	2							16
	生産技術	必修 総合実習			1	選必 圃場実習(畜産)	2	選必 生産マネジメント 実習 I(畜産)	4		必修 企業実習	10						26
						必修 GAP演習	2	必修 大型機械実習 I	2	必修 生産マネジメント実習 II(畜産)	2							
	加工・流通・販 売										必修 販売管理実習	2	必修 6次産業化実践論	2				8
経営管理	必修 農林業経営学	2	必修 経営管理論	2	必修 財務会計	2	必修 マーケティング論	2	必修 管理会計	1	必修 人材マネジメント	2	必修 経営実習 I	5	必修 経営実習	5		25
				必修 経営戦略	2	必修 労務管理	2											
展 開 科 目	農山村の伝 統・文化の継 承、地域資源	必修 農山村田園地 域公共学	2	必修 農村社会論	2	必修 農と食の哲学	2	必修 食文化論	2	必修 農村景域論	2							20
								必修 医福食農連携論	2	必修 在来作物学	2							
								必修 農山村デザイン演 習	2	必修 グリーン・ツーリズム論	2	必修 コミュニティビジネス論	2					
科 総 目 合														必修 経営分析演習 I	1	必修 経営分析演習 II	1	4
														必修 プロジェクト研究	1		1	
セメスター 別単位数			20	17	20	19	21	18	7	7							129	

教育課程連携協議会について

1 教育課程連携協議会の位置づけ

教育課程連携協議会は、学則第 16 条第 2 号に定めるとおり、産業界や地域社会と連携して教育課程を編成するために、教育課程への提言を簡潔かつ明瞭にとりまとめ、学長に報告する。

2 審議事項

教育課程連携協議会は、以下の事項について審議する。

- ① 産業界及び地域社会との連携による授業科目の開設その他の教育課程の編成に関する基本的な事項
- ② 産業界及び地域社会との連携による授業の実施その他の教育課程の実施に関する基本的な事項及びその実施状況の評価に関する事項

3 構成員

教育課程連携協議会は以下のもので構成する。任期は 1 年とし、再任を妨げない。

- ① 学長が指名する教員その他の職員
- ② 本学の課程にかかる職業に就いている者又は関連する事業を行う者による団体のうち、静岡県内で活動するものの関係者であって、実務に関し豊富な経験を有するもの
- ③ 地方公共団体の職員、地域の事業者による団体の関係者その他の地域の関係者
- ④ 臨地実務実習その他の授業科目の開設又は授業の実施において本学と協力する事業者
- ⑤ 本学の教員その他の職員以外のものであって、学長が必要と認めるもの

4 開催回数

原則として年 2 回開催する。

5 役割・権限

教育課程連携協議会は、産業界と連携した教育の推進に寄与する役割が求められており、教育課程連携協議会における授業科目の開発、教育課程の編成及びそれらの見直しに関して学長に進言された意見は、教務委員会にて審議され教育課程に反映される。適切な審議を行うため、教務委員会の委員は教授会構成員より選出された専任教員があたる。

○ 校舎の利用計画表(平成32年度)

講義場所	収容人数	備考	春期(前期)																											
			月					火					水					木					金							
			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
A棟	大講義室	144	使用者																											
	講義室1	40	使用者	短大1年	短大1年	短大1年	短大1年			短大1年	短大1年	短大1年	短大1年			短大1年	短大1年	短大1年	短大1年			短大1年	短大1年	短大1年		短大1年	短大1年			
			講義名	農林業のための科学①	農林業のための科学③	農学概論①	農学概論③			情報処理①	情報処理②	農学概論②	農学概論①			農林業のための科学②	農林業のための科学①	簿記基礎	簿記基礎			情報処理③	農学概論③	農学概論②		農林業のための科学③	農林業のための科学②			
	講義室2	40	使用者	短大1年						短大1年	短大1年					短大1年	短大1年					短大1年					短大1年			
			講義名	農林業史						英語基礎①	英語基礎②					農林業政策	農林業史					英語基礎③					農林業政策			
	講義室3	40	使用者		4大1年	4大1年					4大1年	4大1年	4大1年			4大1年	4大1年					4大1年	4大1年			4大1年	4大1年	4大1年	4大1年	4大1年
			講義名		農林業のための化学	農学概論					県内農林業事情	農林業のための生物学	農林業経営学			農林業田園地域公共学	簿記基礎					コミュニケーション論	分子生物学			農林業政策	経済学概論	農林業のための基礎数学	英語 I	英語 I
閲覧室(学生自習室)	65	使用者	4大1年																											
		講義名	情報処理基礎																											
視聴覚室	166	使用者										4大1短大1																		
		講義名										静岡学																		
B棟	講義室5	16	使用者																											
			講義名																											
	講義室6	16	使用者																											
			講義名																											
	講義室7	12	使用者	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用		
			講義名																											
	講義室8	16	使用者	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用		
			講義名																											
	講義室9	8	使用者	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用		
			講義名																											
講義室10	28	使用者	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用			
		講義名																												
加工実験室	-	使用者																												
		講義名																												
加工講義室	-	使用者																												
		講義名																												

※ 表中の4大は静岡県立農林環境専門職大学を、短大は静岡県立農林環境専門職大学短期大学部を示す。

○ 校舎の利用計画表(平成32年度)

講義場所	収容人数	備考	秋期(後期)																								
			月					火					水					木					金				
			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
A棟	大講義室	144	使用者																								
	講義室1	40	使用者			短大1年	短大1年			短大1年	短大1年	短大1年	短大1年														
			講義名			作物栽培	作物栽培			情報処理①	情報処理②	土壌肥料・植物栄養学①	土壌肥料・植物栄養学②														
	講義室2	40	使用者							短大1年	短大1年	短大1年	短大1年														
			講義名							英語応用①	英語応用②	植物保護①	植物保護②														
	講義室3	40	使用者		4大1年	4大1年	4大1年	4大1年			4大1年	4大1年	4大1年		4大1年	4大1年											
		講義名		農林業史	農林業生産理論	経営管理論	統計学			生命科学	農村社会学	農林業のための物理学		政治学概論	簿記応用												
閲覧室(学生自習室)	65	使用者																									
		講義名																									
視聴覚室	166	使用者																									
		講義名																									
B棟	講義室5	16	使用者																								
			講義名																								
	講義室6	16	使用者			短大1	短大1																				
			講義名			飼料総論	家畜飼養																				
	講義室7	12	使用者	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	
			講義名																								
	講義室8	16	使用者	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	
			講義名																								
	講義室9	8	使用者	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	
			講義名																								
講義室10	28	使用者	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用		
		講義名																									
加工実験室	-	使用者																									
		講義名																									
加工講義室	-	使用者																									
		講義名																									

※ 表中の4大は静岡県立農林環境専門職大学を、短大は静岡県立農林環境専門職大学短期大学部を示す。

○ 校舎の利用計画表(平成32年度)

講義場所	収容人数	備考	冬期(後期)																								
			月					火					水					木					金				
			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
A棟	大講義室	144	使用者																								
			講義名																								
	講義室1	40	使用者			短大1年	短大1年			短大1年	短大1年								短大1年					短大1年	短大1年		
			講義名			野菜栽培	茶栽培			情報処理①	情報処理②								情報処理③					茶栽培	野菜栽培		
	講義室2	40	使用者			短大1年	短大1年			短大1年	短大1年	短大1年	短大1年			短大1年	短大1年		短大1年	短大1年	短大1年		短大1年	短大1年			
			講義名			花き栽培	果樹栽培			英語応用①	英語応用②	農業経営①	農業経営②			野生鳥獣管理・利用論	野生鳥獣管理・利用論		英語応用③	農業経営②	農業経営①		果樹栽培	花き栽培			
	講義室3	40	使用者		4大1年	4大1年	4大1年	4大1年			4大1年	4大1年	4大1年		4大1年	4大1年			4大1年	4大1年			4大1年	4大1年	4大1年	4大1年	4大1年
		講義名		農林業史	農林業生産理論	経営管理論	統計学			生命科学	農村社会論	農林業のための物理学		政治学概論	簿記応用			フードシステム論	野生鳥獣管理・利用論			農林業のための地学	英語Ⅱ	英語Ⅱ	社会学概論	環境と農林業	
閲覧室(学生自習室)	65	使用者																									
		講義名																									
視聴覚室	166	使用者												4大1短大1													
		講義名												静岡学													
B棟	講義室5	16	使用者			短大1年	短大1年					短大1年	短大1年							短大1年	短大1年		短大1年	短大1年			
			講義名			森林土木論(治山・林道)	森林土木論(治山・林道)					林業経営	林業経営							木材加工演習	木材加工演習		木材加工演習	木材加工演習			
	講義室6	16	使用者			短大1年	短大1年					短大1年	短大1年						短大1年	短大1年		短大1年	短大1年				
			講義名			家畜育種繁殖	家畜衛生学					畜産経営	畜産経営						家畜衛生学	家畜育種繁殖		畜産法規	畜産法規				
	講義室7	12	使用者	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用		
			講義名	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用		
	講義室8	16	使用者	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用		
			講義名	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用		
	講義室9	8	使用者	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用		
			講義名	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用		
講義室10	28	使用者	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用			
		講義名	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用			
加工実験室	-	使用者													短大1年	短大1年							短大1年	短大1年			
		講義名													食品加工演習②	食品加工演習②							食品加工演習②	食品加工演習②			
加工講義室	-	使用者													短大1年	短大1年							短大1年	短大1年			
		講義名													食品加工演習②	食品加工演習②							食品加工演習②	食品加工演習②			

※ 表中の4大は静岡県立農林環境専門職大学を、短大は静岡県立農林環境専門職大学短期大学部を示す。

○ 校舎の利用計画表(平成33年度)

講義場所	収容人数	備考	春期(前期)																									
			月					火					水					木					金					
			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
A棟	大講義室	使用者							短大2年	短大2年										短大2年	短大2年	短大2年	短大2年					
		講義名							マーケティング・販売演習	マーケティング・販売演習										マーケティング・販売演習	マーケティング・販売演習	GAP演習	GAP演習					
	講義室1	使用者	短大1年	短大1年	短大1年	短大1年				短大1年	短大1年		短大1年	短大1年	短大1年	短大1年						短大1年	短大1年		短大1年	短大1年	短大2年	短大2年
		講義名	農林業のための科学①	農林業のための科学③	農学概論①	農学概論③				農学概論②	農学概論①		農林業のための科学②	農林業のための科学①	簿記基礎	簿記基礎						農学概論③	農学概論②		農林業のための科学③	農林業のための科学②	流通加工論①	流通加工論③
	講義室2	使用者	短大1年						短大1年	短大1年											短大1年						短大1年	
		講義名	農林業史						英語基礎①	英語基礎②					農林業政策	農林業史					英語基礎③					農林業政策		
	講義室3	使用者		4大1年	4大1年				4大1年	4大1年	4大1年		4大1年	4大1年					4大1年	4大1年				4大1年	4大1年	4大1年	4大1年	4大1年
		講義名		農林業のための化学	農学概論				県内農林業事情	農林業のための生物学	農林業経営学		農山村田園地域公共学	簿記基礎					コミュニケーション論	分子生物学				農林業政策	経済学概論	農林業のための基礎数学	英語 I	英語 I
	講義室4	使用者																										
		講義名																										
視聴覚室	使用者													4大1短大1														
	講義名													静岡学														
B棟	講義室5	使用者								短大2年	短大2年																	
		講義名								木材生産システム	木材生産システム																	
	講義室6	使用者																										
		講義名																										
	講義室7	使用者																										
		講義名																										
	講義室8	使用者	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用
		講義名	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用
	講義室9	使用者	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用
		講義名	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用
講義室10	使用者	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	
	講義名	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	
加工実験室	使用者																											
	講義名																											
加工講義室	使用者																											
	講義名																											
C棟	講義室11	使用者													4大2年				4大2年		4大2年							
		講義名													森林計画・政策論				森林土木学		造林学							
	講義室12	使用者													4大2年					4大2年								
		講義名													飼料総論				家畜飼養学									
	講義室13	使用者	4大2年	4大2年	4大2年	4大2年								4大2年	4大2年		4大2年	4大2年	4大2年	4大2年				4大2年	4大2年	4大2年		
		講義名	畜産法規	農業気象学	財務会計	歴史学概論								植物病理学	土壌肥料・植物栄養学		GAP演習	GAP演習	作物学	経営戦略				食品科学	英語II	英語III		
	講義室14	使用者																										
		講義名																										
	情報処理室	使用者	4大1年						短大1年	短大1年										短大1年								
		講義名	情報処理基礎						情報処理演習①	情報処理演習②										情報処理演習③								

※ 表中の4大は静岡県立農林環境専門職大学を、短大は静岡県立農林環境専門職大学短期大学部を示す。

○ 校舎の利用計画表(平成33年度)

講義場所	収容人数	備考	夏期(前期)																									
			月					火					水					木					金					
			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
A棟	大講義室	使用者						短大2年	短大2年										短大2年	短大2年	短大2年	短大2年						
		講義名						マーケティング・販売演習	マーケティング・販売演習											マーケティング・販売演習	マーケティング・販売演習	GAP演習	GAP演習					
	講義室1	使用者	短大1年	短大1年	短大1年	短大1年				短大1年	短大1年		短大1年	短大1年	短大1年	短大1年						短大1年	短大1年		短大1年	短大1年		
		講義名	分子生物学①	分子生物学③	畜産概論	樹木・組織学				県内農林業事情	県内農林業事情		分子生物学②	分子生物学①	簿記応用	簿記応用						樹木・組織学	畜産概論		分子生物学③	分子生物学②		
	講義室2	使用者	短大1年					短大1年	短大1年				短大1年	短大1年							短大1年	短大2年	短大2年				短大1年	
		講義名	植物生理生態学①					英語基礎①	英語基礎②				植物生理生態学②	植物生理生態学①							英語基礎③	木材利用・流通論	木材利用・流通論				植物生理生態学②	
	40	使用者		4大1年	4大1年				4大1年	4大1年	4大1年		4大1年	4大1年					4大1年	4大1年					4大1年	4大1年	4大1年	4大1年
講義名			農林業のための化学	農学概論				県内農林業事情	農林業のための生物学	農林業経営学		農林業田園地域公共学	簿記基礎					コミュニケーション	分子生物学					農林業政策	経済学概論	農林業のための基礎数学	英語 I	英語 I
講義室4	使用者								短大2年	短大2年																短大2年	短大2年	
	講義名								アグリフードシステム論①	アグリフードシステム論②																施設園芸②	施設園芸①	
視聴覚室	使用者												4大1 短大1															
	講義名												静岡学															
B棟	講義室5	使用者								短大2年	短大2年																	
		講義名								木材生産システム	木材生産システム																	
	講義室6	使用者																										
		講義名																										
	講義室7	使用者																										
		講義名																										
	講義室8	使用者	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用
		講義名																										
	講義室9	使用者	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用
		講義名																										
講義室10	使用者	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	
	講義名																											
加工実験室	使用者																											
	講義名																											
加工講義室	使用者																											
	講義名																											
C棟	講義室11	使用者													4大2年				4大2年		4大2年							
		講義名														森林計画・政策論				森林土木学		造樹学						
	講義室12	使用者												4大2年						4大2年								
		講義名													飼料総論					畜畜飼養学								
	講義室13	使用者	4大2年	4大2年	4大2年	4大2年							4大2年	4大2年		4大2年	4大2年	4大2年	4大2年	4大2年					4大2年	4大2年	4大2年	
		講義名	畜産法規	農業気象学	財務会計	歴史学概論							植物病理学	土壌肥料・植物栄養学		GAP演習	GAP演習	作物学	経営戦略					食品科学	英語Ⅲ	英語Ⅲ		
講義室14	使用者																											
	講義名																											
情報処理室	使用者	4大1年					短大1年	短大1年												短大1年								
	講義名	情報処理基礎					情報処理演習①	情報処理演習②													情報処理演習③							

※ 表中の4大は静岡県立農林環境専門職大学を、短大は静岡県立農林環境専門職大学短期大学部を示す。

○ 校舎の利用計画表(平成33年度)

講義場所	取 登 人 数	備 考	秋期(後期)																											
			月					火					水					木					金							
			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
A棟	大講義室	使用者						短大2年	短大2年												短大2年	短大2年	短大2年	短大2年						
		講義名						マーケティング・販売演習	マーケティング・販売演習													マーケティング・販売演習	マーケティング・販売演習	GAP演習	GAP演習					
	講義室1	使用者			短大1年	短大1年										短大1年	短大1年					短大1年	短大1年			短大1年	短大1年	短大1年	短大1年	
		講義名			作物栽培	作物栽培										植物遺伝育種学概論	植物遺伝育種学概論					土壌肥料・植物栄養学②	土壌肥料・植物栄養学②			食品科学	食品科学	アグリフードシステム論	アグリフードシステム論	
	講義室2	使用者							短大1年	短大1年	短大1年	短大1年										短大1年	短大1年	短大1年		短大1年	短大1年	短大2年	短大2年	
		講義名							英語応用①	英語応用②	植物保護①	植物保護②										英語応用③	植物保護②	植物保護①		菅農と農業関連法	菅農と農業関連法	流通加工論②	流通加工論②	
講義室3	使用者		4大1年	4大1年	4大1年	4大1年		4大1年	4大1年	4大1年	4大1年		4大1年	4大1年		4大1年	4大1年				4大1年	4大1年			4大1年	4大1年	4大1年	4大1年	4大1年	
	講義名		農林業史	農林業生産理論	経営管理論	統計学		生命科学	農村社会論	農林業のための物理学		政治学概論	簿記応用		フードシステム論	野生鳥獣管理・利用論					農林業のための地学	英語Ⅱ	英語Ⅱ	社会学概論	環境と農林業					
講義室4	使用者																													
	講義名																													
視聴覚室	使用者													4大1短大1																
	講義名													静岡学																
B棟	講義室5	使用者																										短大1年	短大1年	
		講義名																											森林計画学	造林学
	講義室6	使用者			短大1	短大1																		短大1年	短大1年				4大2年	
		講義名			飼料総論	家畜飼養																		家畜飼養	飼料総論				木材利用・流通論	
	講義室7	使用者																												
		講義名																												
	講義室8	使用者	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	
		講義名	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	
	講義室9	使用者	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	
		講義名	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	
講義室10	使用者	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用		
	講義名	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用	農大利用		
加工実験室	使用者													短大1年	短大1年													短大1年	短大1年	
	講義名													食品加工演習①	食品加工演習①													食品加工演習①	食品加工演習①	
加工講義室	使用者													短大1年	短大1年													短大1年	短大1年	
	講義名													食品加工演習①	食品加工演習①													食品加工演習①	食品加工演習①	
C棟	講義室11	使用者			短大2年	短大2年									短大2年	短大2年														
		講義名			畜産経営演習(大家畜)	畜産経営演習(大家畜)									人工授精論	人工授精論						畜産経営演習(大家畜)	畜産経営演習(大家畜)							
	講義室12	使用者			短大2年	短大2年									4大2年														4大2年	4大2年
		講義名			畜産経営演習(中小家畜)	畜産経営演習(中小家畜)									茶衛生学							畜産経営演習(中小家畜)	畜産経営演習(中小家畜)					茶畜育種繁殖学	人工授精論	
	講義室13	使用者	4大2年	4大2年	4大2年	4大2年									4大2年	4大2年						4大2年	4大2年	4大2年		4大2年	4大2年	4大2年	4大2年	4大2年
		講義名	文明論	マーケティング論	木材生産システム	木材生産システム									講義学	茶経営管理概論	食文化論	労務管理				文字概論	農と食の健康論	英語Ⅳ	英語Ⅳ			応用昆虫学	植物遺伝育種学概論	
講義室14	使用者													4大2年																
	講義名													木質科学概論																
情報処理室	使用者							短大1年	短大1年														短大1年				4大2年			
	講義名							情報処理①	情報処理②														情報処理③				情報処理応用			

※ 表中の4大は静岡県立農林環境専門職大学を、短大は静岡県立農林環境専門職大学短期大学部を示す。

○ 校舎の利用計画表(平成34年度以降)

講義場所	収容人数	備考	春期(前期)																										
			月					火					水					木					金						
			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
A棟	大講義室	144	使用者						短大2年	短大2年											短大2年	短大2年	短大2年	短大2年					
	講義室1	40	講義名	農林業のための科学①	農林業のための科学③	農学概論①	農学概論③			農学概論②	農学概論①	農林業のための科学②	農林業のための科学①	簿記基礎	簿記基礎					農学概論③	農学概論②	農林業のための科学③	農林業のための科学②	流通加工論①	流通加工論①				
	講義室2	40	使用者	短大1年				短大1年	短大1年			短大1年	短大1年							短大1年						短大1年			
	講義室3	40	講義名	農林業史				英語基礎①	英語基礎②			農林業政策	農林業史							英語基礎③				農林業政策					
	講義室4	65	使用者	短大1年	4大1年	4大1年		4大1年	4大1年	4大1年	農山村田園地域公共学	農林業経営学	農山村田園地域公共学	簿記基礎					コミュニケーション論	分子生物学			農林業政策	経済学概論	農林業のための基礎数学	英語 I	英語 I		
	視聴覚室	166	使用者											4大1 短大1 静同学															
B棟	講義室5	16	使用者							短大2年	短大2年																		
	講義室6	16	講義名							木材生産システム	木材生産システム																		
	講義室7	12	使用者																										
	講義室8	16	使用者																										
	講義室9	8	使用者																										
	講義室10	28	使用者																										
	加工実験室	-	使用者		4大3年	4大3年																							
	加工講義室	-	講義名		食品加工実習	食品加工実習																							
C棟	講義室11	40	使用者	4大3年	4大3年	4大3年				4大2年								4大2年		4大2年									
	講義室12	40	講義名	収穫後生理学	木材加工実習	木材加工実習				森林計画・政策論								森林土木学		造林学									
	講義室13	40	使用者	4大2年	4大2年	4大2年	4大2年			4大2年	4大2年	4大2年	4大2年	4大2年	4大2年	4大2年	4大2年					4大3年	4大2年	4大2年	4大2年				
	講義室14	40	講義名	畜産法規	農業気象学	財務会計	歴史学概論			植物病理学	土壌肥料・植物栄養学			GAP演習	GAP演習	作物学	経営戦略			園芸学各論		食品科学	英語Ⅲ	英語Ⅲ					
	情報処理室	36	使用者	4大1年				4大3年	4大3年	4大3年	4大3年	4大3年	4大3年	4大3年	4大3年	4大3年	4大3年	4大3年			4大3年				4大3年	4大3年	4大3年		
	情報処理室	36	講義名	情報処理基礎						短大1年	短大1年											短大1年							

※ 表中の4大は静岡県立農林環境専門職大学を、短大は静岡県立農林環境専門職大学短期大学部を示す。

○ 校舎の利用計画表(平成34年度以降)

講義場所	収容人数	備考	夏期(前期)																										
			月					火					水					木					金						
			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
A棟	大講義室	使用者						短大2年	短大2年												短大2年	短大2年	短大2年	短大2年					
		講義名						マーケティング・販売演習	マーケティング・販売演習												マーケティング・販売演習	マーケティング・販売演習	GAP演習	GAP演習					
	講義室1	使用者	短大1年	短大1年	短大1年	短大1年				短大1年	短大1年			短大1年	短大1年	短大1年	短大1年						短大1年	短大1年		短大1年	短大1年		
		講義名	分子生物学①	分子生物学③	畜産概論	樹木・組織学				県内農林業事情	県内農林業事情			分子生物学②	分子生物学①	簿記応用	簿記応用						樹木・組織学	畜産概論		分子生物学③	分子生物学②		
	講義室2	使用者	短大1年					短大1年	短大1年					短大1年	短大1年								短大1年	短大2年	短大2年			短大1年	
		講義名	植物生理生態学①						英語基礎①	英語基礎②					植物生理生態学②	植物生理生態学①							英語基礎③	木材利用・流通論	木材利用・流通論			植物生理生態学②	
40	使用者		4大1年	4大1年				4大1年	4大1年	4大1年			4大1年	4大1年								4大1年	4大1年		4大1年	4大1年	4大1年	4大1年	4大1年
	講義名		農林業のための化学	農学概論				県内農林業事情	農林業のための生物学	農林業経営学			農山村田園地域公共学	簿記基礎								コミュニケーション論	分子生物学		農林業政策	経済学概論	農林業のための基礎数学	英語I	英語I
講義室4	使用者								短大2年	短大2年					短大2年	短大2年											短大2年	短大2年	
	講義名								アグリフードシステム論②	アグリフードシステム論②					施設園芸①	施設園芸②											施設園芸②	施設園芸①	
視聴覚室	使用者												4大1短大1	静岡学															
	講義名																												
B棟	講義室5	使用者							短大2年	短大2年																			
		講義名							木材生産システム	木材生産システム																			
	講義室6	使用者																											
		講義名																											
	講義室7	使用者																											
		講義名																											
	講義室8	使用者																											
		講義名																											
	講義室9	使用者																											
		講義名																											
講義室10	使用者																												
	講義名																												
加工実験室	使用者			4大3年	4大3年																								
	講義名			食品加工実習	食品加工実習																								
加工講義室	使用者			4大3年	4大3年																								
	講義名			食品加工実習	食品加工実習																								
C棟	講義室11	使用者	4大3年	4大3年	4大3年								4大2年				4大2年	4大2年											
		講義名	収穫後生理学	木材加工実習	木材加工実習									森林計画・政策論				森林土木学	造林学										
	講義室12	使用者												4大2年				4大2年											
		講義名												飼料総論				家畜飼養学											
	講義室13	使用者	4大2年	4大2年	4大2年	4大2年								4大2年	4大2年	4大2年	4大2年	4大2年				4大3年		4大2年	4大2年	4大2年			
		講義名	畜産法規	農業気象学	財務会計	歴史学概論								植物病理学	土壌肥料・植物栄養学		GAP演習	GAP演習	作物学	経営戦略		園芸学各論		食品科学	英語Ⅲ	英語Ⅲ			
講義室14	使用者		4大3年			4大3年	4大3年	4大3年					4大3年	4大3年	4大3年	4大3年							4大3年		4大3年	4大3年	4大3年		
	講義名		管理会計			技術者倫理	在来作物学	農林業のための先端技術				華道	食品流通論	グリーンツーリズム論	茶道							環境保全型農林業論		農村景域論	販売管理実習	販売管理実習			
情報処理室	使用者	4大1年					短大1年	短大1年															短大1年						
	講義名	情報処理基礎					情報処理演習①	情報処理演習②															情報処理演習③						

※ 表中の4大は静岡県立農林環境専門職大学を、短大は静岡県立農林環境専門職大学短期大学部を示す。

○ 校舎の利用計画表(平成34年度以降)

講義場所	収容人数	備考	秋期(後期)																								
			月					火					水					木					金				
			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
A棟	大講義室	使用者						短大2年	短大2年									短大2年	短大2年	短大2年	短大2年						
		講義名						マーケティング・販売演習	マーケティング・販売演習									マーケティング・販売演習	マーケティング・販売演習	GAP演習	GAP演習						
	講義室1	使用者			短大1年	短大1年				短大1年	短大1年				短大1年	短大1年				短大1年	短大1年		短大1年	短大1年	短大1年	短大1年	
		講義名			作物栽培	作物栽培				土壌肥料・植物栄養学①	土壌肥料・植物栄養学②				植物遺伝育種学概論	植物遺伝育種学概論				土壌肥料・植物栄養学②	土壌肥料・植物栄養学①		食品科学	食品科学	アグリフードシステム論	アグリフードシステム論	
	講義室2	使用者						短大1年	短大1年	短大1年	短大1年				短大1年	短大1年	短大1年	短大1年	短大1年	短大1年			短大1年	短大1年	短大2年	短大2年	
		講義名						英語応用①	英語応用②	植物保護①	植物保護②							英語応用③	植物保護②	植物保護①			富農と農業関連法	富農と農業関連法	流通加工論②	流通加工論②	
講義室3	使用者		4大1年	4大1年	4大1年	4大1年	4大1年	4大1年	4大1年			4大1年	4大1年				4大1年	4大1年				4大1年	4大1年	4大1年	4大1年	4大1年	
	講義名		農林業史	農林業生産理論	経営管理論	統計学	生命科学	農村社会学	農林業のための物理学			政治学概論	簿記応用				フードシステム論	野生鳥獣管理・利用論				農林業のための地学	英語Ⅱ	英語Ⅱ	社会学概論	環境と農林業	
講義室4	使用者																										
視聴覚室	使用者										4大1短大1																
	講義名										静岡学																
B棟	講義室5	使用者							短大1	短大1															短大1年	短大1年	
		講義名								造林学	森林計画学														森林計画学	造林学	
	講義室6	使用者		短大1	短大1														短大1年	短大1年					4大2年		
		講義名		飼料総論	家畜飼養														家畜飼養	飼料総論					木材利用・流通論		
	講義室7	使用者																									
	講義室8	使用者																									
	講義室9	使用者																									
	講義室10	使用者																									
加工実験室	使用者										短大1年	短大1年				食品加工演習①	食品加工演習①				食品加工演習①	食品加工演習①					
加工講義室	使用者										短大1年	短大1年				食品加工演習①	食品加工演習①				食品加工演習①	食品加工演習①					
C棟	講義室11	使用者		短大2年	短大2年				短大2年	短大2年		短大2年	短大2年				畜産経営演習(大家畜)	畜産経営演習(大家畜)									
		講義名		畜産経営演習(大家畜)	畜産経営演習(大家畜)				人工授精論	人工授精論		畜産経営演習(大家畜)	畜産経営演習(大家畜)														
	講義室12	使用者		短大2年	短大2年				4大2年			短大2年	短大2年											4大2年	4大2年		
		講義名		畜産経営演習(中小家畜)	畜産経営演習(中小家畜)				家畜衛生学			畜産経営演習(中小家畜)	畜産経営演習(中小家畜)											家畜育種繁殖学	人工授精論		
	講義室13	使用者	4大2年	4大2年	4大2年	4大2年			4大2年	4大2年		4大2年	4大2年		4大2年		4大2年	4大2年	4大2年			4大2年	4大2年	4大2年	4大2年		
		講義名	文明論	マーケティング論	木材生産システム	木材生産システム			園芸学	医療食薬連携論		食文化論	労務管理		文学概論		農と食の健康論	英語Ⅳ	英語Ⅳ			応用昆虫学	植物遺伝育種学概論				
講義室14	使用者							4大2年																			
	講義名							木質科学概論																			
情報処理室	使用者					短大1年	短大1年											短大1年		4大2年							
	講義名					情報処理①	情報処理②											情報処理③		情報処理応用							

※ 表中の4大は静岡県立農林環境専門職大学を、短大は静岡県立農林環境専門職大学短期大学部を示す。

○ 校舎の利用計画表(平成34年度以降)

講義場所	収容人数	備考	冬期(後期)																										
			月					火					水					木					金						
			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
A棟	大講義室	使用者						短大2年	短大2年																				
		講義名						農山村田園地域公共学①	農山村田園地域公共学③																				
	講義室1	使用者			短大1年	短大1年		短大1年	短大1年					短大2年	短大2年	短大2年	短大2年								短大1年	短大1年	短大2年	短大2年	
		講義名			野菜栽培	茶栽培		情報処理①	情報処理②					食と農の健康論	食と農の健康論	農林業のための先端技術①	農林業のための先端技術②								茶栽培	野菜栽培	農林業のための先端技術②	農林業のための先端技術①	
	講義室2	使用者	短大2年	短大2年	短大1年	短大1年		短大1年	短大1年	短大1年	短大1年					短大1年	短大1年			短大1年	短大1年	短大1年				短大1年	短大1年		
		講義名	流通加工論③	流通加工論③	花き栽培	果樹栽培		英語応用①	英語応用②	農業経営①	農業経営②					野生鳥獣管理・利用論	野生鳥獣管理・利用論			英語応用③	農業経営②	農業経営①				果樹栽培	花き栽培		
講義室3	使用者		4大1年	4大1年	4大1年	4大1年		4大1年	4大1年	4大1年			4大1年	4大1年					4大2年	4大1年	4大1年				4大1年	4大1年	4大1年	4大1年	4大1年
	講義名		農林業史	農林業生産理論	経営管理論	統計学		生命科学	農村社会学	農林業のための物理学			政治学概論	簿記応用					家畜福祉学	フードシステム論	野生鳥獣管理・利用論				農林業のための地学	英語Ⅱ	英語Ⅱ	社会学概論	環境と農林業
講義室4	使用者							短大2年	短大2年															短大2年	短大2年				
	講義名							環境保全型農林業論①	環境保全型農林業論②															環境保全型農林業論②	環境保全型農林業論①				
視聴覚室	使用者																												
	講義名														4大1短大1 静岡学														
B棟	講義室5	使用者			短大1年	短大1年				短大1年	短大1年													短大1年	短大1年		短大1年	短大1年	
		講義名			森林土木論(治山・林道)	森林土木論(治山・林道)				林業経営	林業経営													木材加工演習	木材加工演習		木材加工演習	木材加工演習	
	講義室6	使用者			短大1年	短大1年				短大1年	短大1年												短大1年	短大1年		短大1年	短大1年		
		講義名			家畜育種繁殖	家畜衛生学				畜産経営	畜産経営												家畜衛生学	家畜育種繁殖		畜産法規	畜産法規		
	講義室7	使用者																											
		講義名																											
	講義室8	使用者																											
		講義名																											
	講義室9	使用者																											
		講義名																											
講義室10	使用者																												
	講義名																												
加工実験室	使用者														短大1年	短大1年										短大1年	短大1年		
	講義名														食品加工演習②	食品加工演習②										食品加工演習②	食品加工演習②		
加工講義室	使用者														短大1年	短大1年										短大1年	短大1年		
	講義名														食品加工演習②	食品加工演習②										食品加工演習②	食品加工演習②		
C棟	講義室11	使用者								短大2年																	短大2年		
		講義名								森林生態学																	森林生態学		
	講義室12	使用者			短大2年	短大2年				4大2年																	4大2年	4大2年	
		講義名			畜産環境・堆肥利用論	畜産環境・堆肥利用論				家畜衛生学																	家畜育種繁殖学	人工受精論	
	講義室13	使用者	4大2年	4大2年	4大2年	4大2年				4大2年	4大2年		4大2年	4大2年		4大2年	4大2年	4大2年								4大2年	4大2年		
		講義名	文明論	マーケティング論	木材生産システム	木材生産システム				園芸学	医療食薬連携論		食文化論	労務管理		文学概論		農と食の健康論	英語Ⅳ	英語Ⅳ						応用昆虫学	植物遺伝育種学概論		
講義室14	使用者	4大3年	4大3年				4大3年	4大3年	4大2年				4大3年	4大3年	4大3年										4大3年	4大3年	4大3年	4大3年	
	講義名	人材マネジメント	人材マネジメント				農と食の起業論	農と食の起業論	木質科学概論				6次産業化実践論	知的財産権	知的財産権										販売管理実習	販売管理実習	コミュニティビジネス論	コミュニティビジネス論	
情報処理室	使用者							短大1年	短大1年											短大1年				4大2年					
	講義名							情報処理①	情報処理②											情報処理③				情報処理応用					

※ 表中の4大は静岡県立農林環境専門職大学を、短大は静岡県立農林環境専門職大学短期大学部を示す。

生産環境経営学部生産環境経営学科 前期 時間割

(月)

時限	時間	1年	2年栽培	2年畜産	2年林業	3年栽培	3年畜産	3年林業	4年(2Q)
1	8:50	●情報処理基礎		畜産法規		収穫後生理学			●経営分析演習Ⅰ 各研究室
	10:20	講義室4		講義室13		講義室11			
2	10:30	農林業化学		農業気象学			●会計管理		
	12:00	講義室3		講義室13		講義室14			
3	13:00	●農学概論		●財務会計					
	14:30	講義室3		講義室13		◎食品加工実習	◎木材加工実習		
4	14:40			歴史概論			加工講義室	講義室11	
	16:10			講義室13					
5	16:20						●技術者倫理		
	17:50						講義室14		

(木)

●必修 ◎コース必修

資料26

時限	時間	1年	2年栽培	2年畜産	2年林業	3年栽培	3年畜産	3年林業	4年(2Q)
1	8:50	●コミュニケーション論	◎作物学	◎家畜飼養学	◎森林土木学	◎生産マネジメント実習Ⅱ			圃場等
	10:20	講義室3	講義室13	講義室12	講義室11				
2	10:30	分子生物学		●経営戦略					
	12:00	講義室3		講義室13					
3	13:00	●保健体育Ⅰ			◎造林学	●環境保全型農林業論			
	14:30	体育館・運動場			講義室11	講義室14			
4	14:40					園芸各論			
	16:10					講義室13			
5	16:20								
	17:50								

(火)

時限	時間	1年	2年栽培	2年畜産	2年林業	3年栽培	3年畜産	3年林業	4年(2Q)
1	8:50		◎圃場実習(栽)	◎圃場実習(畜)	◎演習林実習	●在来作物学			●プロジェクト研究 各研究室
	10:20		圃場等			講義室14			
2	10:30	県内農林業事情				●農林業のための先端技術			
	12:00	講義室3				講義室14			
3	13:00	農林業生物学							
	14:30	講義室3							
4	14:40	●農林業経営学							
	16:50	講義室3							
5	16:20	●静岡学							
	17:50	視聴覚室							

(金)

時限	時間	1年	2年栽培	2年畜産	2年林業	3年栽培	3年畜産	3年林業	4年(2Q)
1	8:50	農林業政策	食品科学						
	10:20	講義室3	講義室13						
2	10:30	●経済学概論	英語Ⅲ			●農村景域論			
	12:00	講義室3	講義室13			講義室14			
3	13:00	農林業基礎数学				●販売管理実習			
	14:30	講義室3				講義室14			
4	14:40	英語Ⅰ							
	16:10	講義室3							
5	16:20	講義室3							
	17:50								

(水)

時限	時間	1年	2年栽培	2年畜産	2年林業	3年栽培	3年畜産	3年林業	4年(2Q)
1	8:50	●農山村田園地城公衆学	◎植物病理学	◎飼料総論		華道			
	10:20	講義室3	講義室13	講義室12		講義室14			
2	10:30	簿記基礎	◎土壌肥料・植物栄養学	◎家畜生理解剖学	◎森林計画・政策論	◎食品流通論			
	12:00	講義室3	講義室13	実験室	講義室11	講義室14			
3	13:00	●総合実習	保健体育Ⅱ		●グリーン・ツーリズム論				
	14:30	圃場等	体育館・運動場		講義室14				
4	14:40		●GAP演習		茶道				
	16:10		講義室13		講義室14				
5	16:20								
	17:50								

備考

* 4年(2Q)は5月18日以降。4月13日～18日までは●経営実習Ⅰ。

生産環境経営学部生産環境経営学科 後期 時間割

(月)

時限	時間	1年	2年栽培	2年畜産	2年林業	3年(4Q)	4年(4Q)
1	8:50		文明論			●人材マネジメント	●経営分析演習Ⅱ
	10:20		講義室13				
2	10:30	農林業史	●マーケティング論			講義室14	各研究室
	12:00	講義室3	講義室13				
3	13:00	●農林業生産理論	◎木材生産システム				
	14:30	講義室3					
4	14:40	●経営管理論	講義室14				
	16:10	講義室3					
5	16:20	統計学					
	17:50	講義室3					

(木)

●必修 ◎コース必修 ○選択必修

資料26

時限	時間	1年	2年栽培	2年畜産	2年林業	3年(4Q)	4年(4Q)
1	8:50	フードシステム論	農と食の健康論			◎生産マネジメント実習Ⅱ	
	10:20	講義室3	講義室13				
2	10:30	野生鳥獣管理・利用論	英語Ⅳ				
	12:00	講義室14					
3	13:00	●保健体育Ⅰ	講義室13			圃場等	
	14:30	体育館・運動場					
4	14:40		●情報処理応用				
	16:10		情報処理室				
5	16:20						
	17:50						

(火)

時限	時間	1年	2年栽培	2年畜産	2年林業	3年(4Q)	4年(4Q)
1	8:50		◎生産マネジメント実習Ⅰ			農と食の起業論	●プロジェクト研究
	10:20		圃場等			講義室14	
2	10:30	生命科学	◎園芸学			◎家畜衛生学	◎木質科学概論
	12:00	講義室3					
3	13:00	●農村社会論	◎園芸学	◎家畜衛生学	◎木質科学概論	●6次産業化実践論	
	14:30	講義室3	講義室13	講義室12	講義室14	講義室7	
4	14:40	農林業のための物理学	●医福食農連携論				
	16:50	講義室3	講義室13				
5	16:20	●静岡学					
	17:50	視聴覚室					

(金)

時限	時間	1年	2年栽培	2年畜産	2年林業	3年(4Q)	4年(4Q)
1	8:50	農林業のための地学	◎生産マネジメント実習Ⅰ				
	10:20	講義室3					
2	10:30	英語Ⅱ	圃場等				
	12:00	講義室3					
3	13:00	◎応用昆虫学	◎家畜育種繁殖学	◎木材利用・流通論	●コミュニティビジョン論	講義室14	
	14:30	講義室13	講義室12	講義室6			
4	14:40	社会学概論	植物遺伝育種学概論	人工授精論			
	16:10	講義室3	講義室13	講義室12			
5	16:20	●環境と農林業					
	17:50	講義室3					

(水)

時限	時間	1年	2年栽培	2年畜産	2年林業	3年(4Q)	4年(4Q)
1	8:50	政治学概論	●食文化論				
	10:20	講義室3	講義室13				
2	10:30	簿記応用	●労務管理			●6次産業化実践論	
	12:00	講義室3	講義室13			講義室14	
3	13:00	●総合実習	保健体育Ⅱ			知的財産権	
	14:30	圃場等	体育館・運動場				
4	14:40		文学概論			講義室14	
	16:10		講義室13				
5	16:20						
	17:50						

備考

- * 3年(4Q)は12月1日以降。10月6日～11月30日までは●企業実習。
- * 4年(4Q)は12月1日以降。10月6日～10月30日までは●経営実習Ⅱ。

〈実習を実施する附属施設〉

施設名	実習圃場	機械研修場	畜産技術研究所	
			本所	中小家畜センター
所在地	磐田市富丘 678-1	掛川市下垂木 2770-1	富士宮市猪之頭 1945	菊川市西方 2780
移動時間	0分(校内)	マイクロバスで 28分	マイクロバスで1時間 51分	マイクロバスで 29分
規模等	建物:2,043 m ² 土地:15,843 m ²	建物:1,022 m ² 土地:36,656 m ²	建物:12,732 m ² 土地:121.9ha	建物:9,282 m ² 土地:9.3ha
主な施設・設備	農場実習室 8棟 407 m ² 温室 16棟 2,953 m ² ハウス 6棟 1,133 m ² しいたけ関連 5棟 513 m ² 高度茶業施設 1棟 498 m ² 研究実験室 5室 558 m ² 堆肥舎 1棟 94 m ²	管理舎 1棟 110 m ² 機械庫等 5棟 928 m ² トラクター 9台 ホイールローダ 1台	乳牛試験牛舎 1棟 2,237 m ² 肉牛試験牛舎 1棟 1,271 m ² 放牛育成試験牛舎 1棟 777 m ² 受精卵移植研究棟 1棟 354 m ² 堆肥舎 1棟 800 m ² 乳牛 140頭 肉牛 60頭	管理研究棟 1棟 1,516 m ² 鶏試験鶏舎 1棟 2,935 m ² SPF生産研究棟 1棟 168 m ² 豚試験豚舎 1棟 3,582 m ² 肉質研究棟 1棟 182 m ² 豚 900頭 鶏 3,000羽
圃場	茶園 29a 果樹園 29a 野菜園 24a 育苗園 10a 樹木園 51a	研修用圃場 180a 運転コース 74a	草地:75ha	—
教育・研究での 主な利用可能 分野	<ul style="list-style-type: none"> ・露地作物の栽培管理技術 ・施設園芸の栽培管理技術 ・花き、茶、果樹の栽培管理技術 ・樹木の調査方法 ・しいたけの栽培管理技術 ・中小家畜の生理解剖 ・土壌分析や化合物の測定など ・植物培養 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業機械、トラクターの構造 ・農業機械の運転技能 ・作業機の取扱方法 ・農作業安全対策 ・ロータリー、プラウ等の耕耘技術 ・農業機械の走行方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウシの飼養管理技術の研究 ・性別別精液利用に関する研究 ・ITを活用したウシの分娩・疾病予測の研究 ・IT活用型管理技術の研究 ・未利用資源の有効利用の研究 ・牧草飼料作物の栽培・生産利用の研究 ・家畜ふん尿処理と利用法の研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・SPF環境下の豚飼育技術の研究 ・体細胞クローン技術に関する研究 ・DNAマーカー育種を利用した高品質な豚肉の開発 ・銘柄豚の開発 ・銘柄地鶏の開発 ・畜産経営用環境保全技術 ・臭気抑制・低減技術
実施科目名	「総合実習」 「圃場実習(栽培)」 「圃場実習(畜産)」 「生産マネジメント実習Ⅰ、Ⅱ(栽培)(林業)(畜産)」 「演習林実習」	「大型機械実習Ⅰ、Ⅱ」	「生産マネジメント実習Ⅰ、Ⅱ(畜産)」	「生産マネジメント実習Ⅰ、Ⅱ(畜産)」

施設名	静岡県有林
所在地	浜松市
移動時間	マイクロバスで 40 分程度
規模	森林面積 294ha
教育・研究での 主な利用可能 分野	<ul style="list-style-type: none"> ・林道や作業路等の測量技術 ・樹種や樹高測定等の森林調査技術 ・病害虫等の診断技術 ・植物などの観察 ・下刈り、枝打ちなどの管理技術 ・間伐などチェーンソーを使った伐採技術 ・木材加工技術
実施科目名	「演習林実習」 「生産マネジメント実習Ⅰ、Ⅱ(林業)」 「木材加工実習」 「林業機械実習」

○ 学術雑誌目録

資料28

No	商品名	出版社	分野
1	食糧ジャーナル 月刊 (冊子)	株式会社 食糧問題研究所	農林業一般
2	フードシステム研究 季刊 (冊子)	株式会社 筑波書房	経済学
3	土と健康 月刊 (冊子)	特定非営利活動法人 日本有機農業研究会	農業経営
4	施設と園芸 季刊 (冊子)	日本農民新聞社	農業経営
5	雑草研究 季刊 (冊子)	毎日学術フォーラム	農林研究
6	農業および園芸 月刊 (冊子)	養賢堂	農業経営
7	JATAFFジャーナル 月刊 (冊子)	(公社)農林水産・食品産業技術振興協会	農林業一般
8	山林 月刊 (冊子)	(公社)大日本山林会	林業・木材加工
9	森林科学 年3回 (冊子)	一般社団法人 日本森林学会	林業・木材加工
10	森林技術 月刊 (冊子)	一般社団法人 日本森林技術協会	林業・木材加工
11	農業と経済 月刊 (冊子)	(株)昭和堂	農業経営
12	現代農業 月刊 (冊子)	農山漁村文化協会	農業経営
13	季刊 地域 季刊 (冊子)	農山漁村文化協会	農業経営
14	農業市場研究 季刊 (冊子)	株式会社 筑波書房	農林研究
15	農業経営者 月刊 (冊子)	株式会社 農業技術通信社	農業経営
16	農業 月刊 (冊子)	公益社団法人 大日本農会	農林研究
17	果実日本	日本園芸農業協同組合連合会	園芸
18	農耕と園芸	誠文堂新光社	園芸
19	機械化林業 月刊 (冊子)	林業機械化協会	林業・木材加工
20	ランドスケープ研究	公益社団法人 日本造園学会	環境
21	Annals of Applied Biology	Wiley-Blackwell	農林業一般
22	Grass & Forage Science	Wiley-Blackwell	農林業一般
23	International Journal of Dairy Technology	Wiley-Blackwell	畜産
24	Irrigation and Drainage	John Wiley & Sons Ltd.	農林業一般
25	Journal of Agronomy and Crop Science	Wiley-Blackwell	農林業一般
26	Journal of Food Processing and Preservation	Wiley-Blackwell	食品加工
27	Journal of Food Science	John Wiley & Sons Ltd.	食品加工
28	Journal of Plant Nutrition and Soil Science/ Zeitschrift fuer Pflanzenernaehrung und	VCH	土壌肥料
29	Journal of Science of Food and Agriculture	John Wiley & Sons Ltd.	農林業一般
30	Pest Management Science	John Wiley & Sons Ltd.	病虫害
31	Weed Biology and Management	Wiley-Blackwell	農林業一般
32	Journal of Forestry	Oxford University Press	森林
33	Forest Science	Oxford University Press	森林
34	Agricultural and Forest Entomology	Wiley-Blackwell	森林
35	American Journal of Botany	John Wiley & Sons Ltd.	農林業一般
36	Applied and Environmental Microbiology (Price A; 1 Site with 1-200 Life Science FTE)	AMERICAN SOC. FOR MICROBIOLOGY	農林業一般
37	Cereal Chemistry <FTE Small>	John Wiley & Sons Ltd.	農林業一般
38	Journal of Peasant Studies	Taylor & Francis (Routledge)	農林業一般
39	Plant Physiology, Plant Cell and Teaching Tools in Plant Biology (to Institutions) <Tier 4 - Regular>	AMERICAN SOC PLANT BIOLOGISTS	農林業一般
40	Soil Science Society of America Journal	ASA, CSSA, SSSA	土壌環境

臨地実務実習要綱（案）
（静岡県立農林環境専門職大学）

<目次>

I	(全員) 教育課程と実習	2
II	(全員) 臨地実務実習の概要と目標	2
III	(実習担当教員) 臨地実務実習の考え方	16
IV	(臨地実務実習の指導者) 臨地実務実習施設への依頼事項	19
V	(全員) 臨地実務実習の評価	21
VI	(学生) 臨地実務実習の受講	22

I (全員) 教育課程と実習

1. 教育目標

多彩で高品質な農林産物を生産する本県農林業の基盤である栽培、林業、畜産の各分野の経営を牽引していくことができる高度な実践力と豊かな創造力を備え、各分野の経営体において中核を担う人材であるとともに、自らが農林業を営む農山村の自然環境や景観の保全、伝統・文化の継承などについて学び、農山村の地域社会における将来のリーダーとして、それらを守り育てていくことができる人材を養成する。

2. 教育課程の構造

本学の教育課程は、上記の教育目標を達成するため、基礎科目、職業専門科目、展開科目、総合科目の4つの基礎的な枠組みを構成する。

多彩で高品質な農林産物を生産する本県農林業の基盤である栽培、林業、畜産の各分野の経営を牽引していくことができる高度な実践力と豊かな創造力を備え、各分野の経営体において中核を担う人材であるとともに、自らが農林業を営む農山村の自然環境や景観の保全、伝統・文化の継承などについて学び、農山村の地域社会における将来のリーダーとして、それらを守り育てていくことができる人材に求められる掲げる資質・能力を身に付ける。

II (全員) 臨地実務実習の概要と目標

本学で実施する臨地実務実習の概要は次の通りである。

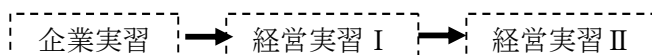
1. 臨地実務実習の概要

本学の臨地実務実習は、「実践的な経営管理能力を身につける」ことを目標に、経営に不可欠な生産技術及び実践的な経営管理能力を身につける。

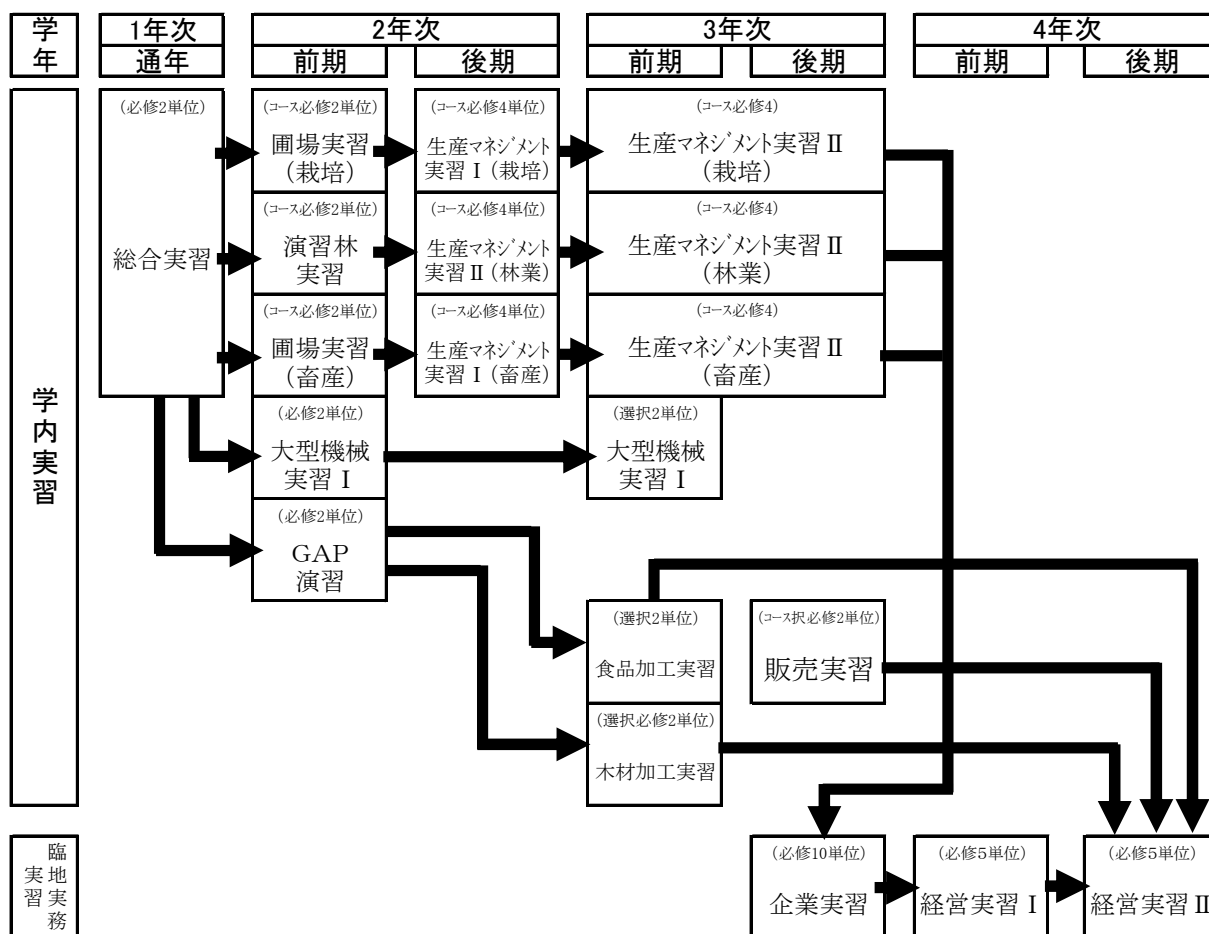
臨地実務実習は、3年次に「企業実習」(10単位)、4年次に「経営実習Ⅰ」(5単位)及び「経営実習Ⅱ」(5単位)を開講する。臨地実務実習の教育効果を高めるため、「企業実習」の履修前には、「総合実習」、「圃場実習」、「生産マネジメント実習Ⅰ」、「生産マネジメント実習Ⅱ」、「大型機械実習Ⅰ」及び「大型機械実習Ⅱ」を配置し、農林業全般にわたる生産知識や、栽培技術や生産管理の基礎について学ぶ実習を実施する。また、「経営実習Ⅰ」及び「経営実習Ⅱ」の履修後には、それぞれ「経営分析演習Ⅰ」及び「経営分析演習Ⅱ」を配置し、さらに実践的な経営についての学びを深める。

<臨地実務実習の流れ>

1年次	2年次	3年次	4年次
-----	-----	-----	-----



< 4年間の実習の流れ >



2. 臨地実務実習の目標

臨地実務実習指導者の指導を受けながら実際の現場を体験し、各臨地実務実習の目標を達成することで、実務的な経営を営む能力を養う。

臨地実務実習のうち、「企業実習」では実践的な生産技術を学ぶ。また、「経営実習 I」では生産現場のマネジメントを行うために必要な知識・技能を、「経営実習 II」では、経営体の経営や経営戦略、加工、流通、販売等について学ぶ。

3. 臨地実務実習の種類と内容

1) 「企業実習」(3年次後期 必修 10 単位)

(1) 目的

先進的な経営体での実習を通じて、学内で学んだ知識・技能をもとに実践的な生産技術を学ぶ。

(2) 目標

- ① 生産現場での基本的な作業工程について理解することが出来る。
- ② 各作業工程に必要な基本的な技術を身につける。

(3) 方法

3年次に配置し、学生が希望する農林業経営体において、約2カ月間実施

する。学生数は1施設1名を予定している。

「企業実習」の受講に当たっては、事前に、すべての学生が「総合実習」で行う刈払機作業安全衛生教育を修了し、また、「大型機械実習Ⅰ」において、大型特殊免許（農耕車限定）を取得する。

また、栽培コースでは、「圃場実習（栽培）」において作物の特徴や作型に関する知識や栽培技術を、「生産マネジメント実習Ⅰ（栽培）」において生産管理の基礎知識・技術を学ぶ。林業コースでは、「演習林実習」において森林・林業生産の基礎知識・技術を、「生産マネジメント実習Ⅰ（林業）」においてチェーンソーの基本操作と整備方法、収穫技術、森林の保護管理技術を学ぶ。畜産コースでは、「圃場実習（畜産）」において、家畜の特徴や生理や習性に関する知識、家畜の「生産マネジメント実習Ⅰ（畜産）」において、家畜飼養管理の基礎知識・技術を習得する。

実習実施前には、実習受入れ先の農林業経営体の基本的な経営情報について調査を行う。

実習中は、臨地実務実習指導者のもと、実際の生産現場を体験する。日々の作業は、臨地実務実習指導者の指示に従って行い、毎日、作業内容について記録を行う。実習指導は、臨地実務実習指導者と本学教員が連携し、適宜連絡を取り合い、学生の実習状況について情報を共有し、助言・指導を行う。

実習終了後は報告会を実施し、生産現場や生産現場で必要となる技術について理解を深める。

<必要な知識・技術や資格・免許等>

コース	必要な生産知識・技術	資格・免許等
栽培コース	<ul style="list-style-type: none">作物の特徴や作型に関する知識、栽培技術生産管理の基礎知識・技術	<ul style="list-style-type: none">刈払機作業安全衛生教育修了大型特殊免許（農耕車限定）
林業コース	<ul style="list-style-type: none">森林・林業生産の基礎知識・技術チェーンソーの基本操作と整備方法、収穫技術森林の保護管理技術	<ul style="list-style-type: none">刈払機作業安全衛生教育修了大型特殊免許（農耕車限定）
畜産コース	<ul style="list-style-type: none">家畜の特徴や生理や習性に関する知識家畜飼養管理の基礎知識・技術	<ul style="list-style-type: none">刈払機作業安全衛生教育修了大型特殊免許（農耕車限定）

(4) 評価項目

- ①臨地実務実習指導者による取組状況の評価
- ②学生が作成する作業記録・自己点検表
- ③学生が作成する報告書
- ④臨地実務実習後の報告会での報告内容

2) 経営実習Ⅰ（4年次前期 必修・5単位）

(1) 目的

生産現場のマネジメントを行うために必要な知識・技能を学ぶ。

(2) 目標

- ① 生産現場の年間計画が理解できる。
- ② 生産現場に必要な要素（資材、労力、資金）について理解し、これらを適切に配置した生産マネジメントについて理解できる。

(3) 方法

4年次に配置し、学生が希望する農林業経営体において、約1ヶ月間の実習を行う。1施設2～4名を想定している。

「経営実習Ⅰ」の受講に当たっては、事前に、「財務会計」及び「管理会計」において経営分析の知識、「労務管理」において労務管理の知識、「GAP演習」において生産工程管理の知識・技術を学ぶ。

また、栽培コースは、「生産マネジメント実習Ⅱ（栽培）」において実践的な栽培管理の知識・技術、「生産マネジメント実習Ⅱ（林業）」、「生産マネジメント実習Ⅱ（畜産）」において、下表の知識や技術を習得する。

実習実施前には、実習受入れ先の農林業経営体の基本的な経営情報について調査を行う。

実習中は、臨地実務実習指導者の指示のもとで作業を行いながら、人員配置、機械、生産資材の利用計画など生産現場のマネジメントに必要な知識・技能を学ぶ。

実習終了後は報告会を実施し、生産現場や生産現場で必要となる技術について理解を深める。

<必要な知識・技術等>

コース	必要な知識・技術
栽培コース	・経営分析の知識 ・労務管理の知識 ・生産工程管理の知識・技術 ・実践的な栽培管理の知識・技術
林業コース	・経営分析の知識 ・労務管理の知識 ・生産工程管理の知識・技術 ・実践的な森林・林業生産の知識・技術
畜産コース	・経営分析の知識 ・労務管理の知識 ・生産工程管理の知識・技術 ・実践的な家畜飼養管理の知識・技術

(4) 評価項目

- ①臨地実務実習指導者による取組状況の評価
- ②学生が作成する作業記録・自己点検表

- ③学生が作成する報告書
- ④臨地実務実習後の報告会での報告内容

3) 経営実習Ⅱ（4年次後期 5単位）

(1) 目的

農林業経営体の経営や経営戦略、加工、流通、販売等について学ぶ。

(2) 目標

- ① 農林業経営体の経営戦略について理解する。
- ② 戦略に基づいた経営のあり方について理解する。
- ③ 生産現場以外の加工・流通・販売について理解する。

(3) 方法

4年次に配置し、学生が希望する農林業経営体において、約1ヶ月間の実習を行う。1施設2～5名を想定している。

「経営実習Ⅱ」の受講にあたっては、事前に、「経営管理論」において経営管理の知識、「経営戦略」において経営戦略の知識、「マーケティング」においてマーケティングの知識、「財務会計」及び「管理会計」において経営分析の知識、「労務管理」において労務管理の知識、「人材マネジメント」において人的資源管理の知識、「GAP演習」において生産工程管理の知識・技術、「販売管理実習」において販売管理の知識・技術を学ぶ。

また、栽培コース及び畜産コースは、「食品加工実習」において食品加工の知識・技術を、林業コースは「木材加工実習」において木材加工の知識技術を習得する。

実習実施前には、実習受入れ先の農林業経営体の基本的な経営情報について調査を行う。

実習中は、臨地実務実習指導者の指示のもと作業を行いながら、農林業経営体の経営、生産現場以外の加工・流通・販売等について学ぶ。

実習終了後は報告会を実施し、農林業経営のあり方について理解を深める。

<必要な知識・技術等>

コース	必要な知識・技術
栽培コース 畜産コース	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営管理・経営戦略・マーケティングの知識 ・ 経営分析の知識 ・ 労務管理の知識 ・ 人的資源管理の知識 ・ 生産工程管理の知識・技術 ・ 販売管理の知識・技術 ・ 食品加工の知識・技術
林業コース	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営管理・経営戦略・マーケティングの知識 ・ 経営分析の知識 ・ 労務管理の知識 ・ 人的資源管理の知識 ・ 生産工程管理の知識・技術 ・ 販売管理の知識・技術 ・ 木材加工の知識・技術

(4) 評価項目

- ① 臨地実務実習指導者による取組状況の評価
- ② 学生が作成する作業記録・自己点検表
- ③ 学生が作成する報告書
- ④ 臨地実務実習後の報告会での報告内容

4) 評価事項

臨地実務実習で身に付ける技能を明らかにするため、臨地実務実習ごとの評価事項を下記に示す。

<評価事項>

○共通

項目	区分	評価事項	企業 実習	経営 実習 I	経営 実習 II
職業人としての 適性	志向・態度	規則や心得を守ることが出来る。	○	○	○
	志向・態度	与えられた仕事を、責任を持って遂行できる。	○	○	○
	志向・態度	従業員と協調して仕事出来る。	○	○	○
	志向・態度	実習学生として必要な基礎知識を有している。	○	○	○
	志向・態度	農林業に対する探究心・意欲及び創造性が見られる。	○	○	○
生産管理	知識・理解 技能	生産に関する基礎知識・技能(※経営種目別)	○	○	○
作業管理	志向・態度	日々の作業結果(作業時間、作業条件等)を作業日誌に記録している。		○	○
	志向・態度	作業効率を考慮して必要な道具、資材、機械等の準備が出来る。		○	○
	知識・理解	年間の出荷(生産計画)を理解し、説明できる。		○	○
	知識・理解	年間の圃場利用計画を理解し、説明できる。		○	○
	知識・理解	労働力・生育状況に見合った作業計画を理解し、説明できる。		○	○
	技能	作業に必要な道具、資材、機械等を整理整頓できる。		○	○
	技能	作業遅れが生じたときの対応策を考えられる。		○	○
販売管理	志向・態度	市況情報を知っている。			○
	技能	市況や生産技術を考慮して、適切な売上・単価目標を決めることが出来る。			○
財務管理	知識・理解	減価償却に関する知識など、簿記・会計理論を理解し、説明できる。			○
	知識・理解	借入金を返済するための資金繰り計画の立て方を理解し、説明できる			○
	知識・理解	収入や支出の時期、金額を理解し、説明できる。			○
	技能	単位当たり(収量や面積あたり)の資材費を把握できる。			○

○生産管理・栽培 ※実習先が野菜・花等の場合項目4、は、茶・果樹の場合は項目5を使用する。

項目	評価事項		圃場 実習	企業 実習 I	経営 実習 II	
	No	内容				
1 農業 一般	志向・態度	1-1	農作業を行う際は、安全作業を心がけて行っている。	○	○	—
	志向・態度	1-2	作業記録の必要性を理解し、作業記録を作成している。	○	○	—
	知識・理解	1-3	作物の器官を理解し、説明できる。(葉、茎、根、花、果実)	○	○	—
	知識・理解	1-4	植物生理を理解し、説明できる。(光合成、呼吸、蒸散、吸収、花芽形成)	○	○	—
	知識・理解	1-5	栽培品目毎の生育適温や水分条件等を理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	1-6	被覆資材の種類と特徴、使用方法について理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	1-7	栽培施設の種類と構造、被覆用資材の種類と特徴を理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	1-8	栽培施設に設置される装置の種類と操作方法を理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	1-9	測定が必要な環境要因(温度、湿度、二酸化炭素等)を理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	1-10	環境測定に必要な機器を理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	1-11	養液栽培の種類と特徴を理解し、説明できる。	○	○	—
2 土 づ くり	知識・理解	2-1	土性の種類と特徴を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	2-2	土壌を観察し、土性を判断できる。		○	—
	知識・理解	2-3	土の団粒構造、三層構造を理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	2-4	栽培品目に適したpHなどを理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	2-5	栽培品目に適した土壌改良や施肥計画が理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	2-6	肥料の種類や特徴を理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	2-7	土壌診断の必要性を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	2-8	土壌診断や、草勢、着果具合など生育にあわせて、施肥・追肥の計画を立てられる。		○	—
3 病 害 虫 ・ 雑 草 管 理 ・ 生 理 障 害	知識・理解	3-1	栽培品目の主要な病害や害虫を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	3-2	病害や虫害が発生した場合、その原因を判断できる。		○	—
	技能	3-3	適切な防除時期を判断できる。		○	—
	知識・理解	3-4	病害虫の防除の方法を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	3-5	病害虫に対して適切な防除資材を判断できる。		○	—
	知識・理解	3-6	病害や虫害が発生しにくい環境を理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	3-7	栽培品目の生理障害とその原因を理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	3-8	生育異常が発生しやすい部位を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	3-9	生育異常が発見でき、その原因を判断できる。		○	—
	技能	3-10	生育異常に対する対応策を判断できる。		○	—
	知識・理解	3-11	農薬の安全使用について理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	3-12	農薬のラベルを見て、適性作物、使用量・使用濃度の確認が出来る。		○	—
	知識・理解	3-13	病害虫防除・雑草防除に使用する機器と操作方法を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	3-14	事故防止のための手段を行っている。		○	—

項目	評価事項		圃場 実習	企業 実習 I	経営 実習 II	
	No	内容				
4 栽培管理 (草本植物 (野菜・ 花等))	知識・理解	4-1	作付体系と作型を理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	4-2	播種の方法や発芽方法、発芽率を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	4-3	栽培品目や作付体系にあわせて、適切に播種ができる。		○	—
	知識・理解	4-4	接ぎ木の時期・方法を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	4-5	栽培品目にあわせて、適切に接ぎ木が出来る。		○	—
	知識・理解	4-6	必要な苗数を確保するための育苗方法を理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	4-7	栽培品目毎の育苗期間や生育適温、水分条件を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	4-8	育苗中に、気象変化に応じて、温度管理・水管理ができる。		○	—
	技能	4-9	栽培品目にあわせて、育苗をし、必要な苗数を確保できる。		○	—
	技能	4-10	栽培品目にあわせて、適切に定植できる		○	—
	知識・理解	4-11	かん水方法の種類と特徴を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	4-12	栽培品目にあわせて、かん水が適切にできる。		○	—
	知識・理解	4-13	うねの種類と特徴を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	4-14	栽培品目にあわせて、うね立てが出来る。		○	—
	知識・理解	4-15	整枝や誘引方法を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	4-16	栽培品目にあわせて、整枝、誘引ができる。		○	—
	知識・理解	4-17	摘葉、摘花、摘果の作業を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	4-18	生育状況に合わせて、摘葉、摘花、摘果すべき箇所を理解し、実施できる。		○	—
	知識・理解	4-19	収穫適期の判断方法を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	4-20	収穫適期を判断し、適切な方法で収穫できる。		○	—
5 栽培管理 (永年植物 (茶・果樹等))	知識・理解	5-1	栽培品目のライフサイクルを理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	5-2	栽培品目の生育について理解し、説明できる。(葉芽、花芽、開花、結実等)	○	○	—
	知識・理解	5-3	栽培品目毎に、接ぎ木や挿し木、取り木、実生などの苗木の生産・育成方法について理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	5-4	栽培品目毎に、接ぎ木や挿し木、取り木、実生などの方法で、苗木の増殖ができる。		○	—
	知識・理解	5-5	栽培品目毎に、整枝・せん定の方法を理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	5-6	(果樹)果樹の栽培品目毎に仕立て方を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	5-7	(果樹)果樹の栽培品目毎に、適切な誘引ができる。		○	—
	知識・理解	5-8	(果樹)受粉、摘蕾、摘花、摘果について理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	5-9	(果樹)栽培品目毎に、適切に受粉、摘蕾、摘花、摘果ができる。		○	—
	知識・理解	5-10	(果樹)袋かけに使用する袋の種類を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	5-11	(果樹)栽培品目ごとに、袋かけの適切な時期を判断し、実行できる。		○	—
	知識・理解	5-12	収穫適期の判断方法を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	5-13	収穫適期を判断し、適切な方法で収穫できる。		○	—

○生産管理・林業

項目	評価事項		圃場 実習	企業 実習 I	経営 実習 II	
	No	内容				
1 林業の基礎	知識・理解	1-1	森林をつくる樹木の種類、その組織と構造、生理機能、森林の階層構造を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	1-2	森林と、森林をとりまく気候や地形、土壌の関係を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	1-3	森林の発達と遷移、遷移の仕組みについて理解し、説明できる。	○	○	-
	技能	1-4	森林の種類について理解し、分類できる。		○	-
	知識・理解	1-5	森林が持つ様々な機能について理解し、説明できる。	○	○	-
2 森林調査	知識・理解	2-1	森林調査で収集する調査項目を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	2-2	森林調査に必要な道具や調査方法を理解し、説明できる。	○	○	-
	技能	2-3	森林調査を実施できる。		○	-
3 服装と道具	知識・理解	3-1	森林での作業に必要な道具や適切な服装について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	3-2	小型の林業機械の種類や適切な使用方法について理解し、説明できる。	○	○	-
	技能	3-3	小型の林業機械を安全に使用できる。		○	-
	技能	3-4	作業にあった服装や道具を選択できる。		○	-
4 造林技術	知識・理解	4-1	人工林における伐採の種類と方法を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-2	人工林における地ごしらえと植栽の種類と方法について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-3	人工林における初期保育のための作業の種類や方法を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-4	人工林における枝打ちの目的や作業方法、必要な道具について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-5	人工林における間伐の目的と作業方法について理解し、説明できる。	○	○	-
	技能	4-6	人工林の造林技術を実施できる。		○	-
	知識・理解	4-7	天然林における施業方法について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-8	山林毎にどのような施業方法が適切か理解し、説明できる。	○	○	-
5 森林保護管理	知識・理解	5-1	森林の観察方法や観察部位について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	5-2	森林における病害や虫害の種類を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	5-3	森林に被害を及ぼす鳥獣の種類を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	5-4	森林の気象被害の発生機構を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	5-5	森林火災の発生原因や防火対策を理解し、説明できる。	○	○	-
	技能	5-6	森林被害に対し、対策を実施できる。		○	-

項目	評価事項		企業 実習	経営 実習 I	経営 実習 II	
	No	内容				
6 収穫技術	知識・理解	6-1	立木の収穫時期、伐倒作業、造材作業、集材作業、高性能林業機械など伐出技術について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-2	集材方法と特徴、伐採した木材の測定方法など、伐採方法と伐出技術について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-3	森林を通る道の種類と働きについて理解し説明できる。	○	○	○
7 生産管理	知識・理解	7-1	生産計画を理解し、説明できる		○	○
	知識・理解	7-2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。		○	○
	知識・理解	7-3	生産計画を理解し、説明ができる。		○	○
	技能	7-4	作業記録を集計し、分析できる。			○
	知識・理解	7-5	販売計画を理解し、説明できる。		○	○
	技能	7-6	販売計画に沿って販売が行われているか、確認できる。			○
	志向・態度	7-7	市場調査、市場分析をおこなって、必要な情報を集めている。			○
	技能	7-8	売上を確認し、計画との差を判断できる。			○
	技能	7-9	生産物の原価を計算できる。			○
	技能	7-10	品目毎に収支計算ができる。			○
	技能	7-11	品目毎に損益分岐点分析ができる。			○
	技能	7-12	作業記録や生産結果、販売結果を分析し、改善方法を提案できる。			○

○生産管理・畜産

※実習先が牧場・肉牛の場合は項目2と3、養豚の場合は項目4と5、養鶏の場合は項目6と7を使用する。

項目	評価事項		圃場 実習	企業 実習 I	経営 実習 II	
	No	内容				
1 畜産 基礎	知識・理解	1-1	家畜の生活環境について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	1-2	経営形態の種類と特徴について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	1-3	飼料の種類や給与形態について、理解し説明できる。	○	○	-
	知識・理解	1-4	飼料管理の重要ポイントを理解し、説明できる。	○	○	-
2 家畜と 飼料の 基礎知識 (牛)	知識・理解	2-1	牛の品種と特徴について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	2-2	牛の飼育方法と特徴について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	2-3	牛舎の種類とその構造について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	2-4	牛の消化器の構造と消化のしくみについて理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	2-5	飼料の種類とその成分について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	2-6	適切な飼料給与について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	2-7	疾病とその発生要因、症状、生産性への影響を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	2-8	生殖器の構造・機能について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	2-9	繁殖生理について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	2-10	発情生理と人工授精について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	2-11	子牛の哺育と育成方法を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	2-12	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	○	○	-
3 管理作業 (牛)	知識・理解	3-1	1日の作業スケジュールについて理解し、説明できる。	○	○	-
	技能	3-2	(施設) 通路の点検が出来る。		○	-
	技能	3-3	(施設) 飼料の管理、掃き寄せが出来る。		○	-
	技能	3-4	(施設) 飼槽の管理が出来る。		○	-
	技能	3-5	(施設) 水槽の管理が出来る。		○	-
	技能	3-6	(施設) 牛の快適な環境を理解し、牛舎の換気が出来る。		○	-
	技能	3-7	(施設) 牛床の管理が出来る		○	-
	技能	3-8	(施設) 外部寄生虫の防除方法を理解し、実践できる。		○	-
	技能	3-9	(施設) 牛舎内の牛の観察をして、異常を発見できる。		○	-
	技能	3-10	(健康の点検) 食欲の有無を観察し、異常が発見できる。		○	-
	技能	3-11	(健康の点検) 目の観察をし、異常を発見できる。		○	-
	技能	3-12	(健康の点検) 鼻の観察をし、異常が発見できる。		○	-
	技能	3-13	(健康の点検) 挙動を観察し、その疾病や課題が発見できる。		○	-
	技能	3-14	(健康の点検) 尾根部や尾の状態を観察し、異常が発見できる。		○	-
	技能	3-15	(健康の点検) 呼吸の状態を観察し、異常が発見できる。		○	-
	技能	3-16	(健康の点検) 発咳を発見し、原因がわかる。		○	-
	技能	3-17	(健康の点検) 牛の適正な体温を理解し、異常時は発見できる。		○	-
	技能	3-18	(健康の点検) 被毛の状態を観察し、異常を発見できる。		○	-
	技能	3-19	(繁殖) 発情の周期を理解し、観察・発見できる。		○	-
	技能	3-20	(乳牛) 搾乳の手順を理解し、実践できる。		○	-

項目	評価事項		圃場 実習	企業 実習 I	経営 実習 II	
	No	内容				
4 家畜と飼料の基礎知識（豚）	知識・理解	4-1	豚の品種と特徴を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-2	豚の繁殖方法について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-3	子豚の飼育方法について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-4	肥育豚の飼育方法について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-5	飼料の種類や特徴を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-6	消化器の構造と消化のしくみを理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-7	豚の疾病と予防方法について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-8	豚舎の環境と衛生管理について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-9	暑熱が豚に及ぼす影響について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-10	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-11	ワクチン接種プログラムを理解し、説明できる。	○	○	-
5 管理作業（豚）	技能	5-1	子豚哺乳・育成時の適温について理解し、適切な暖房使用ができる。		○	-
	技能	5-2	豚の習性を理解し、正しい接し方ができる。		○	-
	技能	5-3	適切に飼槽、飲水の管理ができる。		○	-
	技能	5-4	子豚の去勢方法について理解し、適切に実施できる。		○	-
	技能	5-5	繁殖豚の発情メカニズム、交配、分娩について理解し、実践できる。		○	-
	技能	5-6	飼料の保存や取扱いについて理解し、実践できる。		○	-
	技能	5-7	暑熱時の適切な管理方法について理解し、実践できる。		○	-
6 家畜の飼料の基礎知識（鶏）	知識・理解	6-1	鳥の品種と特徴を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-2	飼育設備の種類と特徴を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-3	鶏舎の設備と機器と使用方法を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-4	消化器の構造と消化・吸収のしくみを理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-5	飼料の種類と特徴を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-6	鶏の疾病と予防方法について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-7	鳥インフルエンザとその防御方法について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-8	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-9	（採卵鶏）産卵鶏の産卵と成鶏の管理について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-10	（採卵鶏）採卵の採取とふ化やひなの管理について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-11	（採卵鶏）鶏卵の規格と品質、品質を決める要因を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-12	（肉用鶏）肉用鶏の成長の特徴について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-13	（肉用鶏）入すうから出荷までの管理について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-14	（肉用鶏）肉用鶏の調査方法について理解し、説明できる。	○	○	-

項目		評価事項		圃場 実習	企業 実習 I	経営 実習 II
		No	内容			
7 管理 作業 (鶏)	技能	7-1	育すう期の適切な温度・湿度を理解し、適切な温度・湿度・換気管理ができる。		○	-
	技能	7-2	生育期に合わせて、適切な給餌器・給水器管理ができる。		○	-
	技能	7-3	デビークを行う理由を理解し、適切に実施できる。		○	-
	技能	7-4	適切な体重を理解し、適切な時期に体重測定が実施できる。		○	-
	技能	7-5	飼料の適切な管理方法について理解し、実施できる。		○	-
	技能	7-6	鶏舎の適切な管理温度を理解し、換気や防寒対策ができる。		○	-
8 衛生 管理	知識・理解	8-1	家畜区域と管理区域の違いを理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	8-2	管理区域の出入り口の消毒の必要性や消毒施設を理解し、説明できる。	○	○	-
	技能	8-3	消毒器・消毒層・消毒帯の管理方法を理解し、実践できる。		○	-
	技能	8-4	消毒薬の使用上の注意を理解し、適切に使用できる。		○	-
	技能	8-5	衛生管理区域内への鳥類、小動物の侵入の必要性を理解し、実施できる。		○	-
9 生産 管理	知識・理解	9-1	生産計画を理解し、説明できる		○	○
	知識・理解	9-2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。		○	○
	知識・理解	9-3	生産計画を理解し、説明できる。		○	○
	技能	9-4	作業記録を集計し、分析できる。			○
	知識・理解	9-5	販売計画を理解し、説明できる。		○	○
	技能	9-6	販売計画に沿って販売が行われているか、確認できる。			○
	志向・態度	9-7	市場調査、市場分析をおこなって、必要な情報を集めている。			○
	技能	9-8	売上を確認し、計画との差を判断できる。			○
	技能	9-9	生産物の原価を計算できる。			○
	技能	9-10	品目毎に収支計算ができる。			○
	技能	9-11	品目毎に損益分岐点分析ができる。			○
	技能	9-12	作業記録や生産結果、販売結果を分析し、改善方法を提案できる。			○

Ⅲ （実習担当教員）臨地実務実習の考え方

臨地実務実習は、先進的な農林業経営体において学生が実地に学ぶことで、経営体の持つ優れた技術や経営管理等を習得させるために行う。

農林業現場では危険な作業を行うことがある。事故の発生を防ぐためには、安全を心がけて適切に作業を進めることが最も重要である。

臨地実務実習における考え方は次の通りである。

1. 臨地実務実習の目的

先進的な農林業経営体において、経営体の持つ優れた技術や経営管理について実地に学び、農林業経営に必要な知識・技能を身につける。

2. 臨地実務実習の方法

実践的かつ効果的な実習を行うため、農林業経営体における長期間の実習を実施する。臨地実務実習指導者に対し、学生が実習を通じて体験できる事項について安全性を確保できるよう環境の整備を行うように依頼する。合わせて学内においては、臨地実務実習に臨むための技能やリスク、基本的態度について事前準備として整える。

3. 実習先の選定

学生の希望に基づき、臨地実務実習先は選定し、大学、農林事務所、農林業経営体等で調整し、決定する。選定の手順は次の通りである。

- 1) 臨地実務実習担当者は、学生の実習希望先の調査のため、「臨地実務実習希望調書」（様式第1号）を提出させる。
- 2) 臨地実務実習担当者は、臨地実務実習希望調書に基づきヒヤリングを実施し、「臨地実務実習学生カード」（様式第2号）を作成する。
- 3) 臨地実務実習担当者は、学生の希望を考慮して実習受入先一覧の中から受入れ農林業経営体候補を選定する。選定後、「臨地実務実習学生希望一覧表」（様式第3号）を作成し、各農林事務所、受け入れ候補の農林業経営体等と調整し、実習先を決定する。
- 4) 大学は実習受入候補の農林業経営体へ「臨地実務実習依頼書」（様式第4号）及び「臨地実務実習学生カード」を送付して、臨地実務実習の受入れを依頼する。
- 5) 実習受入候補の農林業経営体は、依頼について適当を認めた場合は、承諾書（様式第5号）を提出する。
- 6) 実習先の決定後、大学は「臨地実務実習一覧表」（様式第6号）を作成し、該当する農林事務所に送付する。

(実習受入先選定手順)

手順	時期・項目	作成書類	(作成者)
1	(3学年・5月) 学生の希望調査	臨地実務実習希望調書 (様式第1号)	(学生)
2	(3学年・6月) ヒヤリングの実施	臨地実務実習学生カード (様式第2号) 臨地実務実習学生希望一覧表 (様式第3号)	(教員) (教員)
3	(3学年・7月) 選定・調整		
4	(3学年・8月) 臨地実務実習依頼	臨地実務実習依頼書 (様式第4号)	(大学)
5	(3学年・9月) 実習受入の承諾	承諾書 (様式第5号)	(農林業経営体)
6	(3学年・9月) 実習先決定	臨地実務実習先一覧表 (様式第6号)	(大学)

4. 臨地実務実習中の学生が当事者となる事故の予防と発生時の対応

臨地実務実習が安全に実施できるよう、学内において安全教育を行う。事故が発生した場合に備え、連絡体制や対応方法などの管理体制を整える。また、事故の発生によって、学生が怪我を負う場合や、実習先に損害を与える場合に備えて、大学が一括で傷害保険及び賠償責任保険に加入する。

5. 臨地実務実習前の準備

臨地実務実習の履修開始前には、各実習の目的に照らし合わせ、学内で必要な技能の学修を行うとともに、臨地実務実習指導要領に基づき、学生としての姿勢・態度・身だしなみ、事故等への対応、その他報告・連絡・相談の徹底について指導を行う。

生産現場では、農作業に伴う事故や怪我、破傷風やダニが媒介する感染症、鉢刺され被害など様々なリスクがある。このため、これらのリスクに対する対策（農作業安全、感染症対策など）について指導し、実習中の危害防止に努める。

6. 臨地実務実習中の指導

臨地実務実習中の指導は、臨地実務実習指導者と専任教員が連携し、随時連絡を取り合い、学生の臨地実務実習に臨む姿勢や課題の進捗状況、学生の抱える悩み等について情報を共有し、指導・援助を行う。

巡回指導は、2週間に1回程度の頻度で行う。実習中は、電話やメール等で連絡を行う。

7. 臨地実務実習後の指導

臨地実務実習後は報告会を実施する。報告会においては、専任教員を配置して、適時、助言・指導、改善に向けた課題提示等を実施し、農林業経営への学修を深めるようにする。また、必要に応じて個別の学修指導を行う。

8. 臨地実務実習の取り扱い

学生ならびに臨地実務実習指導者は、臨地実務実習の内容を遵守するものとする。遵守できない場合は、臨地実務実習を中止することがある。

Ⅳ （臨地実務実習の指導者）臨地実務実習施設への依頼事項

1 臨地実務研修の目的

臨地実務実習は、学生が先進的な農林業経営体において優れた生産技術や経営管理等を実践的に学修させるために行うものである。臨地実務実習の受入先となる農林業経営体は、大学からの依頼を受けて、臨地実務実習の目的が達成できるよう協力を行う。

2 学生への指導事項

- (1) 日常業務に従事させることで、実践的な生産技術や経営管理等について学修できるように、指導する。
- (2) 日常業務や休憩、休日について指導する。
- (3) 業務に関する会合等へは、可能な限り参加させる。
- (4) 日常業務に最低限必要とされる以外、自動車や自動二輪車等の運転をさせることがないようにする。
- (5) 自動車、自動二輪の持ち込みは、許可のない限り、使用させない。
- (6) 実習前後や実習中に、学生が実習先の農林業経営体の経営について質問するため回答について、協力する。

3 大学への報告・連絡・相談

- (1) 実習決定後の9月、臨地実務実習先と大学で、実習内容について確認を行う。
- (2) 臨地実務実習の受入式及び終了式が原則として農林事務所で行われるため出席する。
- (3) 大学の訪問指導や電話等で学生の実習状況確認について協力する。
- (4) 実習期間中の訪問指導以外において、実習指導上、大学との報告・連絡・相談が必要な場合は、随時、連絡するよう依頼し、対応について臨地実務実習指導者と本学の双方が情報共有し、十分な話し合いを行うようにする。また、状況に応じて臨地実務実習担当者（大学側）が訪問する。
- (5) 事故等が発生した際は、速やかに大学担当者まで御連絡をする。
- (6) 台風や地震等の災害発生、その他諸事情による緊急事態が発生した場合には、速やか大学まで連絡する。
- (7) 実習期間中の出欠表を記入する。
- (8) 実習終了時の成績評価は、実習終了後1週間以内に、郵送にて返信する。
- (9) 名目の如何を問わず、学生に現金や現金に類するもの（商品券、電子マネー等）を与えない。

5 連絡体制

連絡先、連絡体制を下記のとおり定める。

<連絡先>

(平日 午前8時30分～午後6時まで)

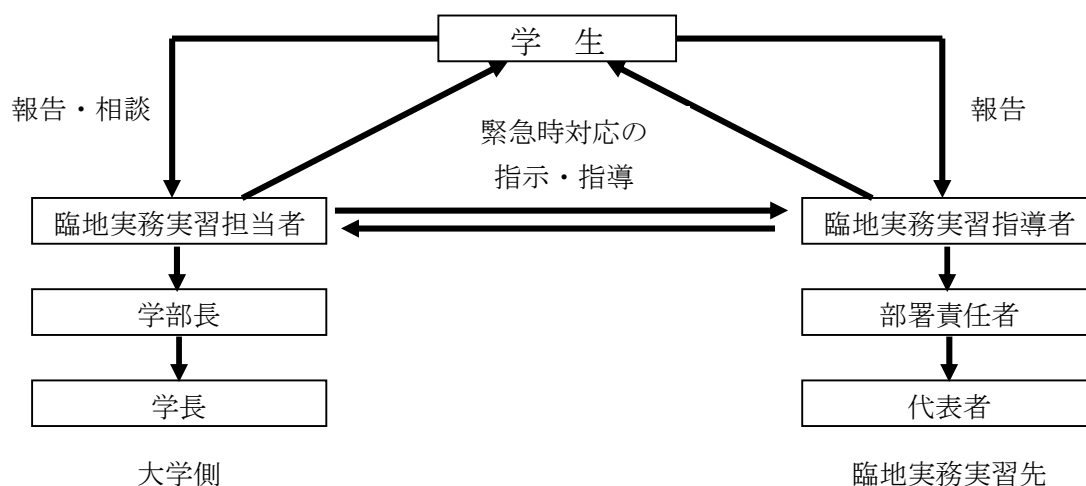
① 生産環境経営学部 臨地実務実習担当
TEL 0538-30-0000

② 静岡県立農林環境専門職大学 (代表番号)
TEL 0538-30-0000

(平日上記時間以外、土・日・祝日)

③ 生産環境経営学部 臨地実務実習担当専用携帯電話
TEL 090-0000-0000

<緊急時の連絡体制>



V (全員) 臨地実務実習の評価

1. 目的

臨地実務実習の評価は、農林業経営者としての態度・適性、実習の到達度について、指導の程度と学生の状況について評価し、臨地実務実習の状況を把握することを目的としている。

2. 臨地実務実習指導者による実習の取組状況評価

- (1) 臨地実務実習指導者が毎日、出欠の状況を確認し、臨地実務実習出欠表(様式第7号)へ押印する。最終日には、確認の上、署名捺印する。
- (2) 臨地実務実習指導者は、臨地実務実習評価表(様式第8～10号)を作成し、本学へ提出する。その各項目ならびに総合コメントは、臨地実務実習状況の要点、今後の学修において望まれる点について記載する。
- (3) 臨地実務指導者は、臨地実務実習評価表に署名・捺印し、記載年月日を記入する。

3. 臨地実務実習評価表の記入方法

臨地実務実習指導者は、実習の取組状況について、臨地実務実習評価表を用いて評価する。評価表は、職業人としての適性、生産管理、作業管理、販売管理、財務管理の各項目ならびに総合コメント等について記載するようになっており、下表の評価基準のとおり5段階で評価する。

<評価基準>

評価	内容
A : 優秀	わずかな助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
B : 良好	時として助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
C : 普通	助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
D : やや劣る	多くの助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
E : 劣る	常に助言・指導を行うが、当該項目を実施できない。

4. 成績評価及び単位認定

全日程の80%以上の出席で単位認定の資格を得る。実習の成績評価は、①臨地実務実習指導者による取組状況の評価、②学生が作成する自己点検表、③学生が作成する報告書、④臨地実務実習後の報告会での内容を、下表に基づいて総合的に判断して行う。

評価項目	様式等	(作成者)	比率
①評価表	(様式8号、様式9号、様式10号)	(臨地実務実習指導者)	25%
②自己点検表	(様式12号、様式13号、様式14号)	(学生)	10%
③報告書	(様式15号)	(学生)	40%
④報告会	(パワーポイントを使った発表)	(学生)	25%

VI (学生) 臨地実務実習の受講

1. 臨地実務実習の心得

臨地実務実習は、先進的な農林業経営を行う経営体において、優れた技術や経営管理を実践的に習得することが目的である。受入を行ってくれる農林業経営体は、経済社会の中で、日々、経営努力を行っていることを銘記し、真摯な態度で研修に臨む。

1) 臨地実務実習における事前準備

- ・臨地実務実習の受講にあたり、自分自身の将来の方向性などを鑑み、どのような農林業経営体で何を学びたいのか十分に検討を行い、臨地実務実習希望調書を提出する。
- ・臨地実務実習地の決定後は、実習先の名称、所在地、電話番号、交通経路、臨地実務実習指導者等について事前調査を行う。
- ・臨地実務実習施設における学生への便宜（昼食、更衣室、宿泊施設等）についても確認する。

2) 規則・時間の厳守

- ・臨地実務実習施設の規則を知り、厳守する。
- ・就業時間、休憩時間、会議開催時間、臨地実務実習指導者等との面談予定時間等を厳守する。臨地実務実習時間は、臨地実務実習先の就業時間に準ずる。

3) 服装・整容・態度の留意

- ・圃場や山林での作業に適した服装を心がける。
- ・臨地実務実習学生として清楚な整容に勤め、頭髪・爪・化粧等は、不快感を与えないように留意する。
- ・礼儀と作法をわきまえ、謙虚で誠実な態度をとるよう留意する。

4) 健康管理

- ・自身の健康管理には十分留意し、規則正しい生活を送る。
- ・圃場や山林などの現場における危険性の高い作業、感染症リスク等について理解し、予防対策を行う。
- ・やむをえず体調を崩した場合は、臨地実務実習指導者へ連絡し対処する。

5) 指示の遵守

- ・臨地実務実習中は、臨地実務実習指導者の指示に従って行動する。
- ・指示や指導について不明な点がある場合は、質問・相談し、正確な行動をとる。勝手な解釈による行動をしない。

6) 連絡体制

- ・臨地実務実習中の「欠席」、「遅刻」、「早退」及び、通学中または臨地実務実習中に発生した事故等は、臨地実務実習指導者及び本学へ連絡する。

- ・巡回指導以外で、本学教員に相談したい事項が生じた場合は、電話やメールにて連絡する。
- ・(緊急連絡) 緊急事態が発生した場合は、臨地実務実習指導者へ連絡する。また、必要に応じて、大学教員へ連絡する。

<大学の緊急連絡先>

(平日 午前8時30分～午後6時まで)

- ④ 生産環境経営学部 臨地実務実習担当

TEL 0538-30-0000

- ⑤ 静岡県立農林環境専門職大学 (代表番号)

TEL 0538-30-0000

(平日上記時間以外、土・日・祝日)

- ⑥ 生産環境経営学部 臨地実務実習担当専用携帯電話

TEL 090-0000-0000

7) 臨地実務実習施設への通学

- ・臨地実務実習施設へ通学する場合は、原則として公共交通機関を使用する。
- ・臨地実務実習の立地によって自動車等の使用が必要な場合は、臨地実務実習指導者ならびに臨地実務実習施設に自動車等の利用が可能なことを確認し、「自動車等使用届」(様式第12号)を本学へ提出して許可を得る。
- ・事故を未然に防ぐよう、通学時間には時間的余裕をもつ。

8) 臨地実務実習施設への宿泊

- ・立地等により臨地実務実習施設へ宿泊して実習を行う場合は、実習先の生活様式を理解して適切に利用する。
- ・宿泊施設では、居室の整理・整頓を心がけ、適宜、清掃を行う。

9) 学習意欲

- ・感謝の気持ちを忘れずに、積極的に自ら学ぶ姿勢を持って学修に取り組む。
- ・次の視点を持って、学修に取り組む。

【視点】

- ⑦ 現在行っていることは、全体の仕事の流れのなかでどの部分なのか。
- ⑧ 現在行っていることは、何故行うのか。
- ⑨ 現在行っていることで、注意すべきことは何か。
- ⑩ 現在行っていることに、改善すべきことはないか。
- ⑪ 現在行っていることを、どのようにまとめ、記録し、今後の学修に役立たせるか。

- ・臨地実務実習先の方々とコミュニケーションを持つ。実習先の方々の言動のなかから、「社会人の姿勢」を感得し、将来の自分自身の礎石とする。

10) 報告書の提出

- ・ 実習の中間地点および終了後に、自己点検表（様式第 12～14 号）を記入する。
- ・ 実習中は毎日、実習記録を記入する。臨地実務実習の終了後は、定められた期限までに実習報告書を提出する（様式第 15 号）。

(様式第1号)

臨地実務実習希望調書

臨地実務実習の目的は、先進的な農林業経営体での実習を通じて経営や技術、考え方などを学修することにあるため、何を学び習得するのか、自分自身の目的を明確に持つことが大切です。

本調書では、この目的を達成できるように、あなたの希望に沿った実習先を選定するための重要な資料となるので、十分に検討して記入してください。

1 希望する内容

作目・畜種	
内容	
理由	

2 希望する地域

地域	
理由	

3 研修先の条件

希望する条件	
その理由	

4 将来の進路希望（○をつける）

自家就農林、独立就農、法人就農、国内研修、海外研修、その他（ ）

5 その他（健康状態等の特別な事情がある場合に記入する）

(様式第2号)

臨地実務実習学生カード

(フリガナ)		男	生年月日	年 月 日
氏名		女	血液型	型 RH +・-
住所 (出身地)	〒 電話 ()			
出身高校名				(写真)
卒業年度				
資格・免許等				
特技				
家族構成	続柄	氏名	年齢	職業
			歳	
			歳	
			歳	
			歳	
経営概況	(○で囲んでください) 専業農家 第1種兼業農家 第2種兼業農家 林家 非農林家			
	基幹作目の種類、規模及び経営の特徴 (専業農家、第1種兼業農家、林家のみ記入してください)			
	種類	規模	経営の種類	
研修の目的・心構え				
備考				

(様式第4号)

〇〇第 号
〇〇年 月 日

〇〇 〇〇様

静岡県立農林環境専門職大学長

〇〇について (依頼)

貴社におかれましては、日々御清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より本学の教育に御協力くださり、深く感謝申し上げます。

さて、御多用中のところ誠に恐れ入りますが、下記の学生について実習指導をお願い申し上げます。また、実習指導にあたっては、別添「臨地実務実習依頼事項について」に基づき、御指導頂ければ幸いです。

なお、実習の受入について御承諾頂ける場合は、「隣地実務実習承諾書」を御提出くださいますよう、併せてお願い申し上げます。

記

経営環境学部経営環境学科

学生氏名 〇〇 〇〇

研修期間 〇〇年〇月〇日～〇〇年〇月〇日

<別添>

臨地実務実習依頼事項について

静岡県立農林環境専門職大学

1 臨地実務研修の目的

臨地実務実習は、学生が、先進的な農林業経営体において優れた生産技術や経営管理等を実践的に学修させるために行うものです。

皆様には、学生への指導事項等に御留意いただき、臨地実務実習の目的が達成できますよう御協力をお願いします。

2 学生への指導事項

- (1) 日常業務に従事させることで、実践的な生産技術や経営管理等について学修できるように、御指導をお願いします。
- (2) 日常業務や休憩、休日について御指導をお願いします。
- (3) 業務に関する会合等へは、可能な限り参加させていただきますよう、御協力をお願いします。
- (4) 日常業務に最低限必要とされる以外、自動車や自動二輪車等の運転をさせることがないように御協力をお願いします。
- (5) 自動車、自動二輪の持ち込みは、許可のない限り厳禁となっておりますので、御協力をお願いします。
- (6) 実習前後や実習中に、学生が貴経営体の経営について質問しますので、経営概況や経営の考え方等についてお答えくださいますよう、御協力をお願いします。

3 大学への報告・連絡・相談

- (1) 臨地実務実習の受入式及び終了式を、原則として農林事務所で行いますので、御出席をお願いします。なお、日時は、別途、御連絡いたします。
- (2) 大学より、訪問及び電話等で学生の実習状況を確認しますので、御協力をお願いします。
- (3) 実習期間中の訪問指導以外において、実習指導上、大学との報告・連絡・相談が必要な場合は、随時御連絡ください。その対応について臨地実務実習指導者と本学の双方が情報共有し、十分な話し合いを行うようにします。また、状況に応じて臨地実務実習担当者が訪問します。
- (4) 事故等が発生した場合は、どのような内容であっても、速やかに大学担当者まで御連絡をお願いします。学生は賠償責任保険に加入しております。
- (5) 台風や地震等の災害発生、その他諸事情による緊急事態が発生した場合には、速やかに本学まで連絡してください。本学からの緊急時の連絡体制は別表に示すとおりです。
- (6) 実習終了時の成績評価表は、実習終了後1週間以内に、本学へ郵送にて返信願います。

4 その他

- (1) 名目の如何を問わず、学生に現金や現金に類するもの（商品券、電子マネー等）を与えないようお願いいたします。

<連絡先>

(平日 午前8時30分～午後6時まで)

- ⑫ 生産環境経営学部 臨地実務実習担当

TEL 0538-30-0000

- ⑬ 静岡県立農林環境専門職大学 (代表番号)

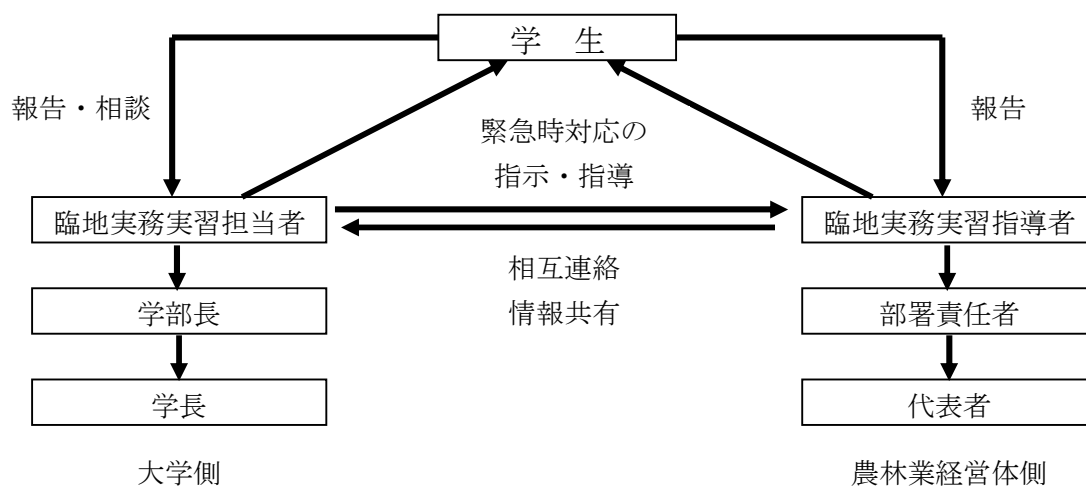
TEL 0538-30-0000

(平日上記時間以外、土・日・祝日)

- ⑭ 生産環境経営学部 臨地実務実習担当専用携帯電話

TEL 090-0000-0000

<緊急時の連絡体制>



(様式第5号)

承 諾 書

〇〇 年 月 日

静岡県立農林環境専門職大学
学長 〇〇 〇〇 様

住所
氏名

〇〇年生産環境経営学部生産環境経営学科学生の臨地実務実習「〇〇〇〇」について、下記のとおり学生の受入を承諾します。

記

- 1 受入学生
生産環境経営学部生産環境経営学科〇年 〇〇 〇〇
- 2 受入期間
〇〇年〇月〇日～〇〇年〇月〇日
- 3 学生の研修内容

- 4 その他
学生の自動車等による通学等 (可 ・ 不可)

(様式第7号)

臨地実務実習出欠表

(講義名：)

実習施設名	
学生氏名	
実習期間	年 月 日 () ~ 年 月 日 ()
講義時間	午前 時 分 ~ 午後 時 分

週	月	火	水	木	金	土	日
第1週							
第2週							
第3週							
第4週							
第5週							
第6週							
第7週							
第8週							
第9週							
第10週							

※ 1 出席日には臨地実務実習指導者が押印してください。

※ 2 「欠席」、「遅刻」、「早退」の場合は、その旨を記載してください。

出席日数	欠席日数	遅刻日数	早退日数

(確認日) 年 月 日

(臨地実務実習指導者名)

⑩

(様式第8号)

企業実習 評価表

臨地実務実習施設名	
学生氏名	

【出席記録】

期 間	年 月 日～ 年 月 日
-----	--------------

【成績評価基準】

評価	内容
A : 優秀	わずかな助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
B : 良好	時として助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
C : 普通	助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
D : やや劣る	多くの助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
E : 劣る	常に助言・指導を行うが、当該項目を実施できない。

I 職業人としての適性

	評 価 項 目	評 価
1	規則や心得を守ることが出来る。	A B C D E
2	与えられた仕事を、責任を持って遂行できる。	A B C D E
3	従業員と協調して仕事出来る。	A B C D E
4	実習学生として必要な基礎知識を有している。	A B C D E
5	農林業に対する探究心・意欲及び創造性が見られる。	A B C D E

コメント

II 生産管理（栽培）

項目		評価事項		評価基準
		No	内容	
1 農業 一般	志向・態度	1-1	農作業を行う際は、安全作業を心がけて行っている。	A B C D E
	志向・態度	1-2	作業記録の必要性を理解し、作業記録を作成している。	A B C D E
	知識・理解	1-3	作物の器官を理解し、説明できる。(葉、茎、根、花、果実)	A B C D E
	知識・理解	1-4	植物生理を理解し、説明できる。(光合成、呼吸、蒸散、吸収、花芽形成)	A B C D E
	知識・理解	1-5	栽培品目毎の生育適温や水分条件等を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-6	被覆資材の種類と特徴、使用方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-7	栽培施設の種類と構造、被覆用資材の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-8	栽培施設に設置される装置の種類と操作方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-9	測定が必要な環境要因(温度、湿度、二酸化炭素等)を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-10	環境測定に必要な機器を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-11	養液栽培の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
2 土づくり	知識・理解	2-1	土性の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-3	土の団粒構造、三層構造を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-4	栽培品目に適したpHなどを理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-5	栽培品目に適した土壌改良や施肥計画が理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-6	肥料の種類や特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-7	土壌診断の必要性を理解し、説明できる。	A B C D E
3 病害虫・ 雑草管理・ 生理障害	知識・理解	3-1	栽培品目の主要な病害や害虫を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3-4	病害虫の防除の方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3-6	病害や虫害が発生しにくい環境を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3-7	栽培品目の生理障害とその原因を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3-8	生育異常が発生しやすい部位を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3-11	農薬の安全使用について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3-13	病害虫防除・雑草防除に使用する機器と操作方法を理解し、説明できる。	A B C D E

4 栽培管理 (草本植物 (野菜・花等))	知識・理解	4-1	作付体系と作型を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-2	播種の方法や発芽方法、発芽率を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-4	接ぎ木の時期・方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-6	必要な苗数を確保するための育苗方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-7	栽培品目毎の育苗期間や生育適温、水分条件を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-11	かん水方法の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-13	うねの種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-15	整枝や誘引方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-17	摘葉、摘花、摘果の作業を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-19	収穫適期の判断方法を理解し、説明できる。	A B C D E
5 栽培管理 (永年植物 (茶・果樹等))	知識・理解	5-1	栽培品目のライフサイクルを理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-2	栽培品目の生育について理解し、説明できる。(葉芽、花芽、開花、結実等)	A B C D E
	知識・理解	5-3	栽培品目毎に、接ぎ木や挿し木、取り木、実生などの苗木の生産・育成方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-5	栽培品目毎に、整枝・せん定の方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-6	(果樹)果樹の栽培品目毎に仕立て方を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-8	(果樹)受粉、摘蕾、摘花、摘果について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-10	(果樹)袋かけに使用する袋の種類を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-12	収穫適期の判断方法を理解し、説明できる。	A B C D E
6 出荷	知識・理解	6-1	等級間の価格の違いを理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-2	出荷調整作業の内容を理解し、説明できる。	A B C D E

コメント

II 生産管理（林業）

項目		評価事項		評価基準
		No	内容	
1 林業の基礎	知識・理解	1-1	森林をつくる樹木の種類、その組織と構造、生理機能、森林の階層構造を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-2	森林と、森林をとりまく気候や地形、土壌の関係を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-3	森林の発達と遷移、遷移の仕組みについて理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-4	森林が持つ様々な機能について理解し、説明できる。	A B C D E
2 調査 森林	知識・理解	2-1	森林調査で収集する調査項目を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-2	森林調査に必要な道具や調査方法を理解し、説明できる。	A B C D E
3 道具 服装	知識・理解	3-1	森林での作業に必要な道具や適切な服装について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3-2	小型の林業機械の種類や適切な使用方法について理解し、説明できる。	A B C D E
4 造林技術	知識・理解	4-1	人工林における伐採の種類と方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-2	人工林における地ごしらえと植栽の種類と方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-3	人工林における初期保育のための作業の種類や方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-4	人工林における枝打ちの目的や作業方法、必要な道具について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-5	人工林における間伐の目的と作業方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-6	天然林における施業方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-7	山林毎にどのような施業方法が適切か理解し、説明できる。	A B C D E
5 森林保護管理	知識・理解	5-1	森林の観察方法や観察部位について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-2	森林における病害や虫害の種類を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-3	森林に被害を及ぼす鳥獣の種類を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-4	森林の気象被害の発生機構を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-5	森林火災の発生原因や防火対策を理解し、説明できる。	A B C D E
6 収穫技術	知識・理解	6-1	立木の収穫時期、伐倒作業、造材作業、集材作業、高性能林業機械など伐出技術について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-2	集材方法と特徴、伐採した木材の測定方法など、伐採方法と伐出技術について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-3	森林を通る道の種類と働きについて理解し説明できる。	A B C D E

コメント

II 生産管理：畜産

※実習先が牧場・肉牛の場合は項目2と3、養豚の場合は項目4と5、養鶏の場合は項目6と7を使用する。

項目		評価事項		評価基準
		No	内容	
基 礎 畜 産	知識・理解	1-1	家畜の生活環について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-2	経営形態の種類と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-3	飼料の種類や給与形態について、理解し説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-4	飼料管理の重要ポイントを理解し、説明できる。	A B C D E
2 家 畜 と 飼 料 の 基 礎 知 識 (牛)	知識・理解	2-1	牛の品種と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-2	牛の飼育方法と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-3	牛舎の種類とその構造について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-4	牛の消化器の構造と消化のしくみについて理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-5	飼料の種類とその成分について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-6	適切な飼料給与について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-7	疾病とその発生要因、症状、生産性への影響を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-8	生殖器の構造・機能について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-9	繁殖生理について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-10	発情生理と人工授精について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-11	子牛の哺育と育成方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-12	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E
3 (牛 業) 管 理	知識・理解	3-1	1日の作業スケジュールについて理解し、説明できる。	A B C D E
4 家 畜 と 飼 料 の 基 礎 知 識 (豚)	知識・理解	4-1	豚の品種と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-2	豚の繁殖方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-3	子豚の飼育方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-4	肥育豚の飼育方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-5	飼料の種類や特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-6	消化器の構造と消化のしくみを理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-7	豚の疾病と予防方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-8	豚舎の環境と衛生管理について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-9	暑熱が豚に及ぼす影響について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-10	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-11	ワクチン接種プログラムを理解し、説明できる。	A B C D E

5 家畜の飼料の基礎知識（鶏）	知識・理解	5-1	鳥の品種と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-2	飼育設備の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-3	鶏舎の設備と機器と使用方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-4	消化器の構造と消化・吸収のしくみを理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-5	飼料の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-6	鶏の疾病と予防方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-7	鳥インフルエンザとその防御方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-8	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-9	（採卵鶏）産卵鶏の産卵と成鶏の管理について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-10	（採卵鶏）採卵の採取とふ化やひなの管理について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-11	（採卵鶏）鶏卵の規格と品質、品質を決める要因を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-12	（肉用鶏）肉用鶏の成長の特徴について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-13	（肉用鶏）入すうから出荷までの管理について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-14	（肉用鶏）肉用鶏の調査方法について理解し、説明できる。	A B C D E
管 6 理 衛 生	知識・理解	6-1	家畜区域と管理区域の違いを理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-2	管理区域の出入り口の消毒の必要性や消毒施設を理解し、説明できる。	A B C D E

コメント

Ⅲ 総合コメント

1. 実習中の状況について御記入ください。

[]

2. 学生の現在の弱点及び今後の課題について御記入ください。

[]

3. その他、お気づきの点があれば御記入ください。

[]

(様式第9号)

経営実習Ⅰ 評価表

臨地実務実習施設名	
学生氏名	

【出席記録】

期 間	年 月 日～ 年 月 日
-----	--------------

【成績評価基準】

評価	内容
A : 優秀	わずかな助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
B : 良好	時として助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
C : 普通	助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
D : やや劣る	多くの助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
E : 劣る	常に助言・指導を行うが、当該項目を実施できない。

I 共通

項目	区分	評価事項	評価基準
職業人としての適性	志向・態度	規則や心得を守ることが出来る。	A B C D E
	志向・態度	与えられた仕事を、責任を持って遂行できる。	A B C D E
	志向・態度	従業員と協調して仕事出来る。	A B C D E
	志向・態度	実習学生として必要な基礎知識を有している。	A B C D E
	志向・態度	農林業に対する探究心・意欲及び創造性が見られる。	A B C D E
管生理産	知識・理解 技能	生産に関する基礎知識・技能(※Ⅱの経営種目別)	-
作業管理	志向・態度	日々の作業結果(作業時間、作業条件等)を作業日誌に記録している。	A B C D E
	志向・態度	作業効率を考えて必要な道具、資材、機械等の準備が出来る。	A B C D E
	知識・理解	年間の出荷(生産計画)を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	年間の圃場利用計画を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	労働力・生育状況に見合った作業計画を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	作業に必要な道具、資材、機械等を整理整頓できる。	A B C D E
	技能	作業遅れが生じたときの対応策を考えられる。	A B C D E

コメント

II 生産管理（栽培）

※実習先が野菜・花等の場合項目4、は、茶・果樹の場合は項目5を使用する。

項目		評価事項		評価基準
		No	内容	
1 農業 一般	志向・態度	1-1	農作業を行う際は、安全作業を心がけて行っている。	A B C D E
	志向・態度	1-2	作業記録の必要性を理解し、作業記録を作成している。	A B C D E
	知識・理解	1-3	作物の器官を理解し、説明できる。(葉、茎、根、花、果実)	A B C D E
	知識・理解	1-4	植物生理を理解し、説明できる。(光合成、呼吸、蒸散、吸収、花芽形成)	A B C D E
	知識・理解	1-5	栽培品目毎の生育適温や水分条件等を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-6	被覆資材の種類と特徴、使用方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-7	栽培施設の種類と構造、被覆用資材の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-8	栽培施設に設置される装置の種類と操作方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-9	測定が必要な環境要因(温度、湿度、二酸化炭素等)を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-10	環境測定に必要な機器を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-11	養液栽培の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
2 土 づ く り	知識・理解	2-1	土性の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	2-2	土壌を観察し、土性を判断できる。	A B C D E
	知識・理解	2-3	土の団粒構造、三層構造を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-4	栽培品目に適したpHなどを理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-5	栽培品目に適した土壌改良や施肥計画が理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-6	肥料の種類や特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-7	土壌診断の必要性を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	2-8	土壌診断や、草勢、着果具合など生育にあわせて、施肥・追肥の計画を立てられる。	A B C D E

3 病害虫・雑草管理・生理障害	知識・理解	3-1	栽培品目の主要な病害や害虫を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	3-2	病害や虫害が発生した場合、その原因を判断できる。	A B C D E
	技能	3-3	適切な防除時期を判断できる。	A B C D E
	知識・理解	3-4	病害虫の防除の方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	3-5	病害虫に対して適切な防除資材を判断できる。	A B C D E
	知識・理解	3-6	病害や虫害が発生しにくい環境を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3-7	栽培品目の生理障害とその原因を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3-8	生育異常が発生しやすい部位を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	3-9	生育異常が発見でき、その原因を判断できる。	A B C D E
	技能	3-10	生育異常に対する対応策を判断できる。	A B C D E
	知識・理解	3-11	農薬の安全使用について理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	3-12	農薬のラベルを見て、適性作物、使用量・使用濃度の確認が出来る。	A B C D E
	知識・理解	3-13	病害虫防除・雑草防除に使用する機器と操作方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	3-14	事故防止のための手段を行っている。	A B C D E
4 栽培管理（草本植物（野菜・花等））	知識・理解	4-1	作付体系と作型を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-2	播種の方法や発芽方法、発芽率を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	4-3	栽培品目や作付体系にあわせて、適切に播種ができる。	A B C D E
	知識・理解	4-4	接ぎ木の時期・方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	4-5	栽培品目にあわせて、適切に接ぎ木が出来る。	A B C D E
	知識・理解	4-6	必要な苗数を確保するための育苗方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-7	栽培品目毎の育苗期間や生育適温、水分条件を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	4-8	育苗中に、気象変化に応じて、温度管理・水管理ができる。	A B C D E
	技能	4-9	栽培品目にあわせて、育苗をし、必要な苗数を確保できる。	A B C D E
	技能	4-10	栽培品目にあわせて、適切に定植できる	A B C D E
	知識・理解	4-11	かん水方法の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	4-12	栽培品目にあわせて、かん水が適切にできる。	A B C D E
	知識・理解	4-13	うねの種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E

4 栽培管理 (草本植物 (野菜・花等))	技能	4-14	栽培品目にあわせて、うね立てができる。	A B C D E
	知識・理解	4-15	整枝や誘引方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	4-16	栽培品目にあわせて、整枝、誘引ができる。	A B C D E
	知識・理解	4-17	摘葉、摘花、摘果の作業を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	4-18	生育状況に合わせて、摘葉、摘花、摘果すべき箇所を理解し、実施できる。	A B C D E
	知識・理解	4-19	収穫適期の判断方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	4-20	収穫適期を判断し、適切な方法で収穫できる。	A B C D E
5 栽培管理 (永年植物 (茶・果樹等))	知識・理解	5-1	栽培品目のライフサイクルを理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-2	栽培品目の生育について理解し、説明できる。(葉芽、花芽、開花、結実等)	A B C D E
	知識・理解	5-3	栽培品目毎に、接ぎ木や挿し木、取り木、実生などの苗木の生産・育成方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	5-4	栽培品目毎に、接ぎ木や挿し木、取り木、実生などの方法で、苗木の増殖ができる。	A B C D E
	知識・理解	5-5	栽培品目毎に、整枝・せん定の方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-6	(果樹)果樹の栽培品目毎に仕立て方を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	5-7	(果樹)果樹の栽培品目毎に、適切な誘引ができる。	A B C D E
	知識・理解	5-8	(果樹)受粉、摘蕾、摘花、摘果について理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	5-9	(果樹)栽培品目毎に、適切に受粉、摘蕾、摘花、摘果ができる。	A B C D E
	知識・理解	5-10	(果樹)袋かけに使用する袋の種類を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	5-11	(果樹)栽培品目ごとに、袋かけの適切な時期を判断し、実行できる。	A B C D E
	知識・理解	5-12	収穫適期の判断方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	5-13	収穫適期を判断し、適切な方法で収穫できる。	A B C D E
6 出荷	知識・理解	6-1	等級間の価格の違いを理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-2	出荷調整作業の内容を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	6-3	栽培品目毎に、適切に出荷調整ができる。	A B C D E
	技能	6-4	出荷調整時に、品質低下を防ぐことができる。	A B C D E
7 生産管理	知識・理解	7-1	生産計画を理解し、説明できる	A B C D E
	知識・理解	7-2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	7-3	生産計画を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	7-5	販売計画を理解し、説明できる。	A B C D E

コメント

II 生産管理（林業）

項目		評価事項		評価基準
		No	内容	
1 林業の基礎	知識・理解	1-1	森林をつくる樹木の種類、その組織と構造、生理機能、森林の階層構造を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-2	森林と、森林をとりまく気候や地形、土壌の関係を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-3	森林の発達と遷移、遷移の仕組みについて理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	1-4	森林の種類について理解し、分類できる。	A B C D E
	知識・理解	1-5	森林が持つ様々な機能について理解し、説明できる。	A B C D E
2 森林調査	知識・理解	2-1	森林調査で収集する調査項目を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-2	森林調査に必要な道具や調査方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	2-3	森林調査を実施できる。	A B C D E
3 服装と道具	知識・理解	3-1	森林での作業に必要な道具や適切な服装について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3-2	小型の林業機械の種類や適切な使用方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	3-3	小型の林業機械を安全に使用できる。	A B C D E
	技能	3-4	作業にあった服装や道具を選択できる。	A B C D E
4 造林技術	知識・理解	4-1	人工林における伐採の種類と方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-2	人工林における地ごしらえと植栽の種類と方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-3	人工林における初期保育のための作業の種類や方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-4	人工林における枝打ちの目的や作業方法、必要な道具について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-5	人工林における間伐の目的と作業方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	4-6	人工林の造林技術を実施できる。	A B C D E
	知識・理解	4-7	天然林における施業方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-8	山林毎にどのような施業方法が適切か理解し、説明できる。	A B C D E
5 森林保護管理	知識・理解	5-1	森林の観察方法や観察部位について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-2	森林における病害や虫害の種類を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-3	森林に被害を及ぼす鳥獣の種類を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-4	森林の気象被害の発生機構を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-5	森林火災の発生原因や防火対策を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	5-6	森林被害に対し、対策を実施できる。	A B C D E

6 収穫技術	知識・理解	6-1	立木の収穫時期、伐倒作業、造材作業、集材作業、高性能林業機械など伐出技術について理	A B C D E
	知識・理解	6-2	集材方法と特徴、伐採した木材の測定方法など、伐採方法と伐出技術について理解し、説明	A B C D E
	知識・理解	6-3	森林を通る道の種類と働きについて理解し説明できる。	A B C D E
7 生産管理	知識・理解	7-1	生産計画を理解し、説明できる	A B C D E
	知識・理解	7-2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	7-3	生産計画を理解し、説明ができる。	A B C D E
	知識・理解	7-5	販売計画を理解し、説明できる。	A B C D E

コメント

II 生産管理（畜産）

項目		評価事項		評価基準
		No	内容	
1 畜産基礎	知識・理解	1-1	家畜の生活環境について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-2	経営形態の種類と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-3	飼料の種類や給与形態について、理解し説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-4	飼料管理の重要ポイントを理解し、説明できる。	A B C D E
2 家畜と飼料の基礎知識（牛）	知識・理解	2-1	牛の品種と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-2	牛の飼育方法と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-3	牛舎の種類とその構造について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-4	牛の消化器の構造と消化のしくみについて理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-5	飼料の種類とその成分について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-6	適切な飼料給与について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-7	疾病とその発生要因、症状、生産性への影響を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-8	生殖器の構造・機能について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-9	繁殖生理について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-10	発情生理と人工授精について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-11	子牛の哺育と育成方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-12	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E
3 管理作業（牛）	知識・理解	3-1	1日の作業スケジュールについて理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	3-2	(施設)通路の点検が出来る。	A B C D E
	技能	3-3	(施設)飼料の管理、掃き寄せが出来る。	A B C D E
	技能	3-4	(施設)飼槽の管理が出来る。	A B C D E
	技能	3-5	(施設)水槽の管理が出来る。	A B C D E
	技能	3-6	(施設)牛の快適な環境を理解し、牛舎の換気が出来る。	A B C D E
	技能	3-7	(施設)牛床の管理が出来る	A B C D E
	技能	3-8	(施設)外部寄生虫の防除方法を理解し、実践できる。	A B C D E
	技能	3-9	(施設)牛舎内の牛の観察をして、異常を発見できる。	A B C D E
	技能	3-10	(健康の点検)食欲の有無を観察し、異常が発見できる。	A B C D E

3 管理作業（牛）	技能	3-11	(健康の点検)目の観察をし、異常を発見できる。	A B C D E
	技能	3-12	(健康の点検)鼻の観察をし、異常が発見できる。	A B C D E
	技能	3-13	(健康の点検)挙動を観察し、その疾病や課題が発見できる。	A B C D E
	技能	3-14	(健康の点検)尾根部や尾の状態を観察し、異常が発見できる。	A B C D E
	技能	3-15	(健康の点検)呼吸の状態を観察し、異常が発見できる。	A B C D E
	技能	3-16	(健康の点検)発咳を発見し、原因がわかる。	A B C D E
	技能	3-17	(健康の点検)牛の適正な体温を理解し、異常時は発見できる。	A B C D E
	技能	3-18	(健康の点検)被毛の状態を観察し、異常を発見できる。	A B C D E
	技能	3-19	(繁殖)発情の周期を理解し、観察・発見できる。	A B C D E
	技能	3-20	(乳牛)搾乳の手順を理解し、実践できる。	A B C D E
4 家畜と飼料の基礎知識（豚）	知識・理解	4-1	豚の品種と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-2	豚の繁殖方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-3	子豚の飼育方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-4	肥育豚の飼育方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-5	飼料の種類や特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-6	消化器の構造と消化のしくみを理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-7	豚の疾病と予防方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-8	豚舎の環境と衛生管理について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-9	暑熱が豚に及ぼす影響について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-10	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-11	ワクチン接種プログラムを理解し、説明できる。	A B C D E
(豚)5 管理作業	技能	5-1	子豚哺乳・育成時の適温について理解し、適切な暖房使用ができる。	A B C D E
	技能	5-2	豚の習性を理解し、正しい接し方ができる。	A B C D E
	技能	5-3	適切に飼槽、飲水の管理ができる。	A B C D E
	技能	5-4	子豚の去勢方法について理解し、適切に実施できる。	A B C D E
	技能	5-5	繁殖豚の発情メカニズム、交配、分娩について理解し、実践できる。	A B C D E
	技能	5-6	飼料の保存や取扱いについて理解し、実践できる。	A B C D E
	技能	5-7	暑熱時の適切な管理方法について理解し、実践できる。	A B C D E
6 家畜の飼料の基礎知識（鶏）	知識・理解	6-1	鳥の品種と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-2	飼育設備の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-3	鶏舎の設備と機器と使用方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-4	消化器の構造と消化・吸収のしくみを理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-5	飼料の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-6	鶏の疾病と予防方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-7	鳥インフルエンザとその防御方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-8	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-9	(採卵鶏)産卵鶏の産卵と成鶏の管理について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-10	(採卵鶏)採卵の採取とふ化やひなの管理について理解し、説明できる。	A B C D E

(鶏) 家畜の飼料の基礎知識	知識・理解	6-11	(採卵鶏) 鶏卵の規格と品質、品質を決める要因を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-12	(肉用鶏) 肉用鶏の成長の特徴について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-13	(肉用鶏) 入すうから出荷までの管理について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-14	(肉用鶏) 肉用鶏の調査方法について理解し、説明できる。	A B C D E
7 管理作業(鶏)	技能	7-1	育すう期の適切な温度・湿度を理解し、適切な温度・湿度・換気管理ができる。	A B C D E
	技能	7-2	生育期に合わせて、適切な給餌器・給水器管理ができる。	A B C D E
	技能	7-3	デビークを行う理由を理解し、適切に実施できる。	A B C D E
	技能	7-4	適切な体重を理解し、適切な時期に体重測定が実施できる。	A B C D E
	技能	7-5	飼料の適切な管理方法について理解し、実施できる。	A B C D E
	技能	7-6	鶏舎の適切な管理温度を理解し、換気や防寒対策ができる。	A B C D E
8 衛生管理	知識・理解	8-1	家畜区域と管理区域の違いを理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	8-2	管理区域の出入り口の消毒の必要性や消毒施設を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	8-3	消毒器・消毒層・消毒帯の管理方法を理解し、実践できる。	A B C D E
	技能	8-4	消毒薬の使用上の注意を理解し、適切に使用できる。	A B C D E
	技能	8-5	衛生管理区域内への鳥類、小動物の侵入の必要性を理解し、実施できる。	A B C D E
9 生産管理	知識・理解	9-1	生産計画を理解し、説明できる	A B C D E
	知識・理解	9-2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	9-3	生産計画を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	9-5	販売計画を理解し、説明できる。	A B C D E

コメント

Ⅲ 総合コメント

1. 実習中の状況について御記入ください。

[]

2. 学生の現在の弱点及び今後の課題について御記入ください。

[]

3. その他、お気づきの点があれば御記入ください。

[]

(様式第 10 号)

経営実習Ⅱ 評価表

臨地実務実習施設名	
学生氏名	

【出席記録】

期 間	年 月 日～ 年 月 日
-----	--------------

【成績評価基準】

評価	内容
A : 優秀	わずかな助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
B : 良好	時として助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
C : 普通	助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
D : やや劣る	多くの助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
E : 劣る	常に助言・指導を行うが、当該項目を実施できない。

I 共通

項目	区分	評価事項	評価基準
職業人としての適性	志向・態度	規則や心得を守ることが出来る。	A B C D E
	志向・態度	与えられた仕事を、責任を持って遂行できる。	A B C D E
	志向・態度	従業員と協調して仕事出来る。	A B C D E
	志向・態度	実習学生として必要な基礎知識を有している。	A B C D E
	志向・態度	農林業に対する探究心・意欲及び創造性が見られる。	A B C D E
生産管理	知識・理解 技能	生産に関する基礎知識・技能(※経営種目別)	-
作業管理	志向・態度	日々の作業結果(作業時間、作業条件等)を作業日誌に記録している。	A B C D E
	志向・態度	作業効率を考慮して必要な道具、資材、機械等の準備が出来る。	A B C D E
	知識・理解	年間の出荷(生産計画)を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	年間の圃場利用計画を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	労働力・生育状況に見合った作業計画を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	作業に必要な道具、資材、機械等を整理整頓できる。	A B C D E
	技能	作業遅れが生じたときの対応策を考えられる。	A B C D E
販売管理	志向・態度	市況情報を知っている。	A B C D E
	技能	市況や生産技術を考慮して、適切な売上・単価目標を決めることが出来る。	A B C D E
財務管理	知識・理解	減価償却に関する知識など、簿記・会計理論を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	借入金を返済するための資金繰り計画の立て方を理解し、説明できる	A B C D E
	知識・理解	収入や支出の時期、金額を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	単位当たり(収量や面積あたり)の資材費を把握できる。	A B C D E

コメント

II 生産管理（栽培）

項目		評価事項		評価基準
		No	内容	
生産管理	知識・理解	1	生産計画を理解し、説明できる	A B C D E
	知識・理解	2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3	生産計画を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	4	作業記録を集計し、分析できる。	A B C D E
	知識・理解	5	販売計画を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	6	販売計画に沿って販売が行われているか、確認できる。	A B C D E
	志向・態度	7	市場調査、市場分析をおこなって、必要な情報を集めている。	A B C D E
	技能	8	売上を確認し、計画との差を判断できる。	A B C D E
	技能	9	生産物の原価を計算できる。	A B C D E
	技能	10	栽培品目毎に収支計算ができる。	A B C D E
	技能	11	栽培品目毎に損益分岐点分析ができる。	A B C D E
	技能	12	作業記録や生産結果、販売結果を分析し、改善方法を提案できる。	A B C D E

コメント

II 生産管理（林業）

項目		評価事項		評価基準
		No	内容	
生産管理	知識・理解	1	生産計画を理解し、説明できる	A B C D E
	知識・理解	2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3	生産計画を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	4	作業記録を集計し、分析できる。	A B C D E
	知識・理解	5	販売計画を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	6	販売計画に沿って販売が行われているか、確認できる。	A B C D E
	志向・態度	7	市場調査、市場分析をおこなって、必要な情報を集めている。	A B C D E
	技能	8	売上を確認し、計画との差を判断できる。	A B C D E
	技能	9	生産物の原価を計算できる。	A B C D E
	技能	10	品目毎に収支計算ができる。	A B C D E
	技能	11	品目毎に損益分岐点分析ができる。	A B C D E
	技能	12	作業記録や生産結果、販売結果を分析し、改善方法を提案できる。	A B C D E

コメント

II 生産管理（畜産）

項目	評価事項		評価基準	
	No	内容		
生産管理	知識・理解	1	生産計画を理解し、説明できる	A B C D E
	知識・理解	2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3	生産計画を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	4	作業記録を集計し、分析できる。	A B C D E
	知識・理解	5	販売計画を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	6	販売計画に沿って販売が行われているか、確認できる。	A B C D E
	志向・態度	7	市場調査、市場分析をおこなって、必要な情報を集めている。	A B C D E
	技能	8	売上を確認し、計画との差を判断できる。	A B C D E
	技能	9	生産物の原価を計算できる。	A B C D E
	技能	10	品目毎に収支計算ができる。	A B C D E
	技能	11	品目毎に損益分岐点分析ができる。	A B C D E
	技能	12	作業記録や生産結果、販売結果を分析し、改善方法を提案できる。	A B C D E

コメント

Ⅲ 総合コメント

1. 実習中の状況について御記入ください。

[]

2. 学生の現在の弱点及び今後の課題について御記入ください。

[]

3. その他、お気づきの点があれば御記入ください。

[]

(様式第 11 号)

自動車等使用届

平成 年 月 日

農林環境専門職大学長 様

本人氏名 ⑩

保護者氏名 ⑩

下記のとおり、(講義名)において自動車等を使用したいので届け出ます。
なお、使用に際しては別紙に従います。また、万が一事故を起こしたときは、自己の責任で処理することを確約します。

記

1 使用自動車等

車名	
車色	
ナンバー	

2 免許

免許証番号	
取得年月日	

3 任意保険の加入状況

	金額	期間	会社名
対人			
対物			
自損			
搭乗者			

(別紙)

臨地実務実習における自動車等の使用について

1 手続き

自動車等の使用を希望する学生は、研修先の承諾と保護者の同意を基に自動車等使用届けを大学に提出する。

2 遵守事項

- (1) 事故等に対する十分な賠償責任を持つ保険に加入する。
- (2) 交通関係法規を守り、常に安全に努める。
- (3) 実習先の指定された場所に駐車し、無断駐車や違法駐車をしない。
- (4) その他、大学の指示に従うこと。

3 事故、違反の報告

交通事故または道路交通法違反を起こした場合は、速やかに大学へ報告する。

4 その他

- (1) 自動車等使用届の提出時に、免許証及び任意保険証を提示すること。
- (2) 実習場所の内外を問わず、自動車等の事故等についてい大学は一切の責任を負わない。

(様式第 12 号)

企業実習 自己点検表

臨地実務実習施設名	
学生氏名	

中間評価記載日	年 月 日
最終評価記載日	年 月 日

【評価基準】

評価	内容
A : できている	助言・指導を特に必要とせず、良く理解し十分に積極的に行動できている。
B : ややできている	助言・指導を時として必要だが、理解し積極的に行動できている。
C : 普通	助言・指導があれば、何とか理解して行動できている。
D : ややできていない	助言・指導があっても理解度が低くて消極的であり、なかなか行動できていない。
E : 全くできていない	助言・指導があっても、理解できないため、行動ができない。

I 職業人としての適性

	評価項目	中間評価	最終評価
1	規則や心得を守ることが出来る。	A B C D E	A B C D E
2	与えられた仕事を、責任を持って遂行できる。	A B C D E	A B C D E
3	従業員と協調して仕事ができる。	A B C D E	A B C D E
4	実習学生として必要な基礎知識を有している。	A B C D E	A B C D E
5	農林業に対する探究心・意欲及び創造性が見られる。	A B C D E	A B C D E

II 生産管理（栽培）

項目	評価事項		中間評価	最終評価	
	No	内容			
1 農業一般	志向・態度	1-1	農作業を行う際は、安全作業を心がけて行っている。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	1-2	作業記録の必要性を理解し、作業記録を作成している。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-3	作物の器官を理解し、説明できる。(葉、茎、根、花、果実)	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-4	植物生理を理解し、説明できる。(光合成、呼吸、蒸散、吸収、花芽形成)	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-5	栽培品目毎の生育適温や水分条件等を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-6	被覆資材の種類と特徴、使用方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-7	栽培施設の種類と構造、被覆用資材の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-8	栽培施設に設置される装置の種類と操作方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-9	測定が必要な環境要因(温度、湿度、二酸化炭素等)を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-10	環境測定に必要な機器を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-11	養液栽培の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
2 土づくり	知識・理解	2-1	土性の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-3	土の団粒構造、三層構造を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-4	栽培品目に適したpHなどを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-5	栽培品目に適した土壌改良や施肥計画が理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-6	肥料の種類や特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-7	土壌診断の必要性を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
3 病害虫・雑草管理・生理障害	知識・理解	3-1	栽培品目の主要な病害や害虫を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-4	病害虫の防除の方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-6	病害や虫害が発生しにくい環境を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-7	栽培品目の生理障害とその原因を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-8	生育異常が発生しやすい部位を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-11	農薬の安全使用について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-13	病害虫防除・雑草防除に使用する機器と操作方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E

4	知識・理解	4-1	作付体系と作型を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-2	播種の方法や発芽方法、発芽率を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-4	接ぎ木の時期・方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-6	必要な苗数を確保するための育苗方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-7	栽培品目毎の育苗期間や生育適温、水分条件を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-11	かん水方法の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-13	うねの種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-15	整枝や誘引方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-17	摘葉、摘花、摘果の作業を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-19	収穫適期の判断方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
5	知識・理解	5-1	栽培品目のライフサイクルを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-2	栽培品目の生育について理解し、説明できる。(葉芽、花芽、開花、結実等)	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-3	栽培品目毎に、接ぎ木や挿し木、取り木、実生などの苗木の生産・育成方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-5	栽培品目毎に、整枝・せん定の方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-6	(果樹)果樹の栽培品目毎に仕立て方を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-8	(果樹)受粉、摘蕾、摘花、摘果について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-10	(果樹)袋かけに使用する袋の種類を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-12	収穫適期の判断方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
6	知識・理解	6-1	等級間の価格の違いを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-2	出荷調整作業の内容を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E

II 生産管理（林業）

項目		評価事項		中間評価	最終評価
		No	内容		
1 林業の基礎	知識・理解	1-1	森林をつくる樹木の種類、その組織と構造、生理機能、森林の階層構造を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-2	森林と、森林をとりまく気候や地形、土壌の関係を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-3	森林の発達と遷移、遷移の仕組みについて理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-4	森林が持つ様々な機能について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
2 調査 森林	知識・理解	2-1	森林調査で収集する調査項目を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-2	森林調査に必要な道具や調査方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
3 道具 服装	知識・理解	3-1	森林での作業に必要な道具や適切な服装について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-2	小型の林業機械の種類や適切な使用方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
4 造林技術	知識・理解	4-1	人工林における伐採の種類と方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-2	人工林における地ごしらえと植栽の種類と方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-3	人工林における初期保育のための作業の種類や方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-4	人工林における枝打ちの目的や作業方法、必要な道具について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-5	人工林における間伐の目的と作業方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-6	天然林における施業方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-7	山林毎にどのような施業方法が適切か理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
5 森林保護管理	知識・理解	5-1	森林の観察方法や観察部位について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-2	森林における病害や虫害の種類を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-3	森林に被害を及ぼす鳥獣の種類を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-4	森林の気象被害の発生機構を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-5	森林火災の発生原因や防火対策を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
6 収穫技術	知識・理解	6-1	立木の収穫時期、伐倒作業、造材作業、集材作業、高性能林業機械など伐出技術について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-2	集材方法と特徴、伐採した木材の測定方法など、伐採方法と伐出技術について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-3	森林を通る道の種類と働きについて理解し説明できる。	A B C D E	A B C D E

II 生産管理（畜産）

項目		評価事項		中間評価	最終評価
		No	内容		
1 畜産基礎	知識・理解	1-1	家畜の生活環について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-2	経営形態の種類と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-3	飼料の種類や給与形態について、理解し説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-4	飼料管理の重要ポイントを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
2 家畜と飼料の基礎知識（牛）	知識・理解	2-1	牛の品種と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-2	牛の飼育方法と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-3	牛舎の種類とその構造について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-4	牛の消化器の構造と消化のしくみについて理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-5	飼料の種類とその成分について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-6	適切な飼料給与について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-7	疾病とその発生要因、症状、生産性への影響を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-8	生殖器の構造・機能について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-9	繁殖生理について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-10	発情生理と人工授精について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-11	子牛の哺育と育成方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-12	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
3 （牛） 管理作業	知識・理解	3-1	1日の作業スケジュールについて理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
4 家畜と飼料の基礎知識（豚）	知識・理解	4-1	豚の品種と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-2	豚の繁殖方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-3	子豚の飼育方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-4	肥育豚の飼育方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-5	飼料の種類や特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-6	消化器の構造と消化のしくみを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-7	豚の疾病と予防方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-8	豚舎の環境と衛生管理について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-9	暑熱が豚に及ぼす影響について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-10	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-11	ワクチン接種プログラムを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E

5 家畜の飼料の基礎知識（鶏）	知識・理解	5-1	鳥の品種と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-2	飼育設備の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-3	鶏舎の設備と機器と使用方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-4	消化器の構造と消化・吸収のしくみを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-5	飼料の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-6	鶏の疾病と予防方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-7	鳥インフルエンザとその防御方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-8	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-9	（採卵鶏）産卵鶏の産卵と成鶏の管理について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-10	（採卵鶏）採卵の採取とふ化やひなの管理について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-11	（採卵鶏）鶏卵の規格と品質、品質を決める要因を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-12	（肉用鶏）肉用鶏の成長の特徴について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-13	（肉用鶏）入すうから出荷までの管理について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-14	（肉用鶏）肉用鶏の調査方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
6 管理衛生	知識・理解	6-1	家畜区域と管理区域の違いを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-2	管理区域の出入り口の消毒の必要性や消毒施設を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E

Ⅲ 自分自身が頑張っていること、困っていること（中間評価時）

A large, empty, rounded rectangular bracketed area, intended for the user to write their response to the question above. The brackets are on the left and right sides, with the top and bottom edges being curved.

(様式第 13 号)

経営実習 I 自己点検表

臨地実務実習施設名	
学生氏名	

中間評価記載日	年 月 日
最終評価記載日	年 月 日

【評価基準】

評価	内容
A : できている	助言・指導を特に必要とせず、良く理解し十分に積極的に行動できている。
B : ややできている	助言・指導を時として必要だが、理解し積極的に行動できている。
C : 普通	助言・指導があれば、何とか理解して行動できている。
D : ややできていない	助言・指導があっても理解度が低くて消極的であり、なかなか行動できていない。
E : 全くできていない	助言・指導があっても、理解できないため、行動ができない。

I 共通

項目	区分	評価事項	中間評価	最終評価
職業人としての適性	志向・態度	規則や心得を守ることが出来る。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	与えられた仕事を、責任を持って遂行できる。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	従業員と協調して仕事出来る。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	実習学生として必要な基礎知識を有している。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	農林業に対する探究心・意欲及び創造性が見られる。	A B C D E	A B C D E
管生理産	知識・理解 技能	生産に関する基礎知識・技能(※Ⅱの経営種目別)	-	-
作業管理	志向・態度	日々の作業結果(作業時間、作業条件等)を作業日誌に記録している。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	作業効率を考えて必要な道具、資材、機械等の準備が出来る。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	年間の出荷(生産計画)を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	年間の圃場利用計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	労働力・生育状況に見合った作業計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	作業に必要な道具、資材、機械等を整理整頓できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	作業遅れが生じたときの対応策を考えられる。	A B C D E	A B C D E

II 生産管理（栽培）

項目	評価事項		中間評価	最終評価	
	No	内容			
1 農業一般	志向・態度	1-1	農作業を行う際は、安全作業を心がけて行っている。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	1-2	作業記録の必要性を理解し、作業記録を作成している。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-3	作物の器官を理解し、説明できる。(葉、茎、根、花、果実)	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-4	植物生理を理解し、説明できる。(光合成、呼吸、蒸散、吸収、花芽形成)	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-5	栽培品目毎の生育適温や水分条件等を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-6	被覆資材の種類と特徴、使用方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-7	栽培施設の種類と構造、被覆用資材の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-8	栽培施設に設置される装置の種類と操作方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-9	測定が必要な環境要因(温度、湿度、二酸化炭素等)を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-10	環境測定に必要な機器を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-11	養液栽培の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
2 土づくり	知識・理解	2-1	土性の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	2-2	土壌を観察し、土性を判断できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-3	土の団粒構造、三層構造を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-4	栽培品目に適したpHなどを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-5	栽培品目に適した土壌改良や施肥計画が理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-6	肥料の種類や特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-7	土壌診断の必要性を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	2-8	土壌診断や、草勢、着果具合など生育にあわせて、施肥・追肥の計画を立てられる。	A B C D E	A B C D E

3	知識・理解	3-1	栽培品目の主要な病害や害虫を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-2	病害や虫害が発生した場合、その原因を判断できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-3	適切な防除時期を判断できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-4	病害虫の防除の方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-5	病害虫に対して適切な防除資材を判断できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-6	病害や虫害が発生しにくい環境を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-7	栽培品目の生理障害とその原因を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-8	生育異常が発生しやすい部位を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-9	生育異常が発見でき、その原因を判断できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-10	生育異常に対する対応策を判断できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-11	農薬の安全使用について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-12	農薬のラベルを見て、適性作物、使用量・使用濃度の確認が出来る。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-13	病害虫防除・雑草防除に使用する機器と操作方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-14	事故防止のための手段を行っている。	A B C D E	A B C D E
4	知識・理解	4-1	作付体系と作型を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-2	播種の方法や発芽方法、発芽率を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	4-3	栽培品目や作付体系にあわせて、適切に播種ができる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-4	接ぎ木の時期・方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	4-5	栽培品目にあわせて、適切に接ぎ木が出来る。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-6	必要な苗数を確保するための育苗方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-7	栽培品目毎の育苗期間や生育適温、水分条件を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	4-8	育苗中に、気象変化に応じて、温度管理・水管理ができる。	A B C D E	A B C D E
	技能	4-9	栽培品目にあわせて、育苗をし、必要な苗数を確保できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	4-10	栽培品目にあわせて、適切に定植できる	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-11	かん水方法の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	4-12	栽培品目にあわせて、かん水が適切にできる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-13	うねの種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E

栽培管理 (草本植物 (野菜・花等))	技能	4-14	栽培品目にあわせて、うね立てができる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-15	整枝や誘引方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	4-16	栽培品目にあわせて、整枝、誘引ができる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-17	摘葉、摘花、摘果の作業を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	4-18	生育状況に合わせて、摘葉、摘花、摘果すべき箇所を理解し、実施できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-19	収穫適期の判断方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	4-20	収穫適期を判断し、適切な方法で収穫できる。	A B C D E	A B C D E
栽培管理 (永年植物 (茶・果樹等))	知識・理解	5-1	栽培品目のライフサイクルを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-2	栽培品目の生育について理解し、説明できる。(葉芽、花芽、開花、結実等)	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-3	栽培品目毎に、接ぎ木や挿し木、取り木、実生などの苗木の生産・育成方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	5-4	栽培品目毎に、接ぎ木や挿し木、取り木、実生などの方法で、苗木の増殖ができる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-5	栽培品目毎に、整枝・せん定の方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-6	(果樹)果樹の栽培品目毎に仕立て方を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	5-7	(果樹)果樹の栽培品目毎に、適切な誘引ができる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-8	(果樹)受粉、摘蕾、摘花、摘果について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	5-9	(果樹)栽培品目毎に、適切に受粉、摘蕾、摘花、摘果ができる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-10	(果樹)袋かけに使用する袋の種類を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	5-11	(果樹)栽培品目ごとに、袋かけの適切な時期を判断し、実行できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-12	収穫適期の判断方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	5-13	収穫適期を判断し、適切な方法で収穫できる。	A B C D E	A B C D E
出荷	知識・理解	6-1	等級間の価格の違いを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-2	出荷調整作業の内容を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	6-3	栽培品目毎に、適切に出荷調整ができる。	A B C D E	A B C D E
	技能	6-4	出荷調整時に、品質低下を防ぐことができる。	A B C D E	A B C D E
生産管理	知識・理解	7-1	生産計画を理解し、説明できる	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	7-2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	7-3	生産計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	7-5	販売計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E

II 生産管理（林業）

項目	評価事項		中間評価	最終評価	
	No	内容			
1 林業の基礎	知識・理解	1-1	森林をつくる樹木の種類、その組織と構造、生理機能、森林の階層構造を理解し、	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-2	森林と、森林をとりまく気候や地形、土壌の関係を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-3	森林の発達と遷移、遷移の仕組みについて理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	1-4	森林の種類について理解し、分類できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-5	森林が持つ様々な機能について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
2 森林調査	知識・理解	2-1	森林調査で収集する調査項目を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-2	森林調査に必要な道具や調査方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	2-3	森林調査を実施できる。	A B C D E	A B C D E
3 服装と道具	知識・理解	3-1	森林での作業に必要な道具や適切な服装について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-2	小型の林業機械の種類や適切な使用方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-3	小型の林業機械を安全に使用できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-4	作業にあった服装や道具を選択できる。	A B C D E	A B C D E
4 造林技術	知識・理解	4-1	人工林における伐採の種類と方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-2	人工林における地ごしらえと植栽の種類と方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-3	人工林における初期保育のための作業の種類や方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-4	人工林における枝打ちの目的や作業方法、必要な道具について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-5	人工林における間伐の目的と作業方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	4-6	人工林の造林技術を実施できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-7	天然林における施業方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-8	山林毎にどのような施業方法が適切か理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
5 森林保護管理	知識・理解	5-1	森林の観察方法や観察部位について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-2	森林における病害や虫害の種類を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-3	森林に被害を及ぼす鳥獣の種類を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-4	森林の気象被害の発生機構を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-5	森林火災の発生原因や防火対策を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	5-6	森林被害に対し、対策を実施できる。	A B C D E	A B C D E

6 収穫技術	知識・理解	6-1	立木の収穫時期、伐倒作業、造材作業、集材作業、高性能林業機械など伐出技術	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-2	集材方法と特徴、伐採した木材の測定方法など、伐採方法と伐出技術について理	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-3	森林を通る道の種類と働きについて理解し説明できる。	A B C D E	A B C D E
7 生産管理	知識・理解	7-1	生産計画を理解し、説明できる	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	7-2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	7-3	生産計画を理解し、説明ができる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	7-5	販売計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E

II 生産管理（畜産）

項目	評価事項		中間評価	最終評価	
	No	内容			
畜産基礎	知識・理解	1-1	家畜の生活環について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-2	経営形態の種類と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-3	飼料の種類や給与形態について、理解し説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-4	飼料管理の重要ポイントを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
家畜と飼料の基礎知識（牛）	知識・理解	2-1	牛の品種と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-2	牛の飼育方法と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-3	牛舎の種類とその構造について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-4	牛の消化器の構造と消化のしくみについて理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-5	飼料の種類とその成分について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-6	適切な飼料給与について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-7	疾病とその発生要因、症状、生産性への影響を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-8	生殖器の構造・機能について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-9	繁殖生理について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-10	発情生理と人工授精について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-11	子牛の哺育と育成方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-12	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
管理作業（牛）	知識・理解	3-1	1日の作業スケジュールについて理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-2	(施設) 通路の点検が出来る。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-3	(施設) 飼料の管理、掃き寄せが出来る。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-4	(施設) 飼槽の管理が出来る。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-5	(施設) 水槽の管理が出来る。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-6	(施設) 牛の快適な環境を理解し、牛舎の換気が出来る。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-7	(施設) 牛床の管理が出来る	A B C D E	A B C D E
	技能	3-8	(施設) 外部寄生虫の防除方法を理解し、実践できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-9	(施設) 牛舎内の牛の観察をして、異常を発見できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-10	(健康の点検) 食欲の有無を観察し、異常が発見できる。	A B C D E	A B C D E

3 管理作業 (牛)	技能	3-11	(健康の点検)目の観察をし、異常を発見できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-12	(健康の点検)鼻の観察をし、異常が発見できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-13	(健康の点検)挙動を観察し、その疾病や課題が発見できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-14	(健康の点検)尾根部や尾の状態を観察し、異常が発見できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-15	(健康の点検)呼吸の状態を観察し、異常が発見できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-16	(健康の点検)発咳を発見し、原因がわかる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-17	(健康の点検)牛の適正な体温を理解し、異常時は発見できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-18	(健康の点検)被毛の状態を観察し、異常を発見できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-19	(繁殖)発情の周期を理解し、観察・発見できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-20	(乳牛)搾乳の手順を理解し、実践できる。	A B C D E	A B C D E
4 家畜と飼料の基礎知識 (豚)	知識・理解	4-1	豚の品種と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-2	豚の繁殖方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-3	子豚の飼育方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-4	肥育豚の飼育方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-5	飼料の種類や特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-6	消化器の構造と消化のしくみを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-7	豚の疾病と予防方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-8	豚舎の環境と衛生管理について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-9	暑熱が豚に及ぼす影響について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-10	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-11	ワクチン接種プログラムを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
5 管理作業 (豚)	技能	5-1	子豚哺乳・育成時の適温について理解し、適切な暖房使用ができる。	A B C D E	A B C D E
	技能	5-2	豚の習性を理解し、正しい接し方ができる。	A B C D E	A B C D E
	技能	5-3	適切に飼槽、飲水の管理ができる。	A B C D E	A B C D E
	技能	5-4	子豚の去勢方法について理解し、適切に実施できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	5-5	繁殖豚の発情メカニズム、交配、分娩について理解し、実践できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	5-6	飼料の保存や取扱いについて理解し、実践できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	5-7	暑熱時の適切な管理方法について理解し、実践できる。	A B C D E	A B C D E

6	家畜の飼料の基礎知識(鶏)	知識・理解	6-1	鳥の品種と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	6-2	飼育設備の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	6-3	鶏舎の設備と機器と使用方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	6-4	消化器の構造と消化・吸収のしくみを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	6-5	飼料の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	6-6	鶏の疾病と予防方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	6-7	鳥インフルエンザとその防御方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	6-8	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	6-9	(採卵鶏)産卵鶏の産卵と成鶏の管理について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	6-10	(採卵鶏)採卵の採取とふ化やひなの管理について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
(鶏)	家畜の飼料の基礎知識	知識・理解	6-11	(採卵鶏)鶏卵の規格と品質、品質を決める要因を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	6-12	(肉用鶏)肉用鶏の成長の特徴について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	6-13	(肉用鶏)入すうから出荷までの管理について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	6-14	(肉用鶏)肉用鶏の調査方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
7	管理作業(鶏)	技能	7-1	育すう期の適切な温度・湿度を理解し、適切な温度・湿度・換気管理ができる。	A B C D E	A B C D E
		技能	7-2	生育期に合わせて、適切な給餌器・給水器管理ができる。	A B C D E	A B C D E
		技能	7-3	デビークを行う理由を理解し、適切に実施できる。	A B C D E	A B C D E
		技能	7-4	適切な体重を理解し、適切な時期に体重測定が実施できる。	A B C D E	A B C D E
		技能	7-5	飼料の適切な管理方法について理解し、実施できる。	A B C D E	A B C D E
		技能	7-6	鶏舎の適切な管理温度を理解し、換気や防寒対策ができる。	A B C D E	A B C D E
8	衛生管理	知識・理解	8-1	家畜区域と管理区域の違いを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	8-2	管理区域の出入り口の消毒の必要性や消毒施設を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		技能	8-3	消毒器・消毒層・消毒帯の管理方法を理解し、実践できる。	A B C D E	A B C D E
		技能	8-4	消毒薬の使用上の注意を理解し、適切に使用できる。	A B C D E	A B C D E
		技能	8-5	衛生管理区域内への鳥類、小動物の侵入の必要性を理解し、実施できる。	A B C D E	A B C D E
9	生産管理	知識・理解	9-1	生産計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	9-2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	9-3	生産計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	9-5	販売計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E

Ⅲ 自分自身が頑張っていること、困っていること（中間評価時）

[]

(様式第 14 号)

経営実習Ⅱ 自己点検表

臨地実務実習施設名	
学生氏名	

中間評価記載日	年 月 日
最終評価記載日	年 月 日

【評価基準】

評価	内容
A : できている	助言・指導を特に必要とせず、良く理解し十分に積極的に行動できている。
B : ややできている	助言・指導を時として必要だが、理解し積極的に行動できている。
C : 普通	助言・指導があれば、何とか理解して行動できている。
D : ややできていない	助言・指導があっても理解度が低くて消極的であり、なかなか行動できていない。
E : 全くできていない	助言・指導があっても、理解できないため、行動ができない。

I 共通

項目	区分	評価事項	中間評価	最終評価
職業人としての適性	志向・態度	規則や心得を守ることが出来る。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	与えられた仕事を、責任を持って遂行できる。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	従業員と協調して仕事出来る。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	実習学生として必要な基礎知識を有している。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	農林業に対する探究心・意欲及び創造性が見られる。	A B C D E	A B C D E
生産管理	知識・理解 技能	生産に関する基礎知識・技能(※経営種目別)	-	-
作業管理	志向・態度	日々の作業結果(作業時間、作業条件等)を作業日誌に記録している。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	作業効率を考えて必要な道具、資材、機械等の準備が出来る。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	年間の出荷(生産計画)を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	年間の圃場利用計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	労働力・生育状況に見合った作業計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	作業に必要な道具、資材、機械等を整理整頓できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	作業遅れが生じたときの対応策を考えられる。	A B C D E	A B C D E
販売管理	志向・態度	市況情報を知っている。	A B C D E	A B C D E
	技能	市況や生産技術を考慮して、適切な売上・単価目標を決めることが出来る。	A B C D E	A B C D E
財務管理	知識・理解	減価償却に関する知識など、簿記・会計理論を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	借入金を返済するための資金繰り計画の立て方を理解し、説明できる	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	収入や支出の時期、金額を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	単位当たり(収量や面積あたり)の資材費を把握できる。	A B C D E	A B C D E

II 生産管理（栽培）

項目		評価事項		評価基準	評価基準
		No	内容		
生産管理	知識・理解	1	生産計画を理解し、説明できる	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3	生産計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	4	作業記録を集計し、分析できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5	販売計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	6	販売計画に沿って販売が行われているか、確認できる。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	7	市場調査、市場分析をおこなって、必要な情報を集めている。	A B C D E	A B C D E
	技能	8	売上を確認し、計画との差を判断できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	9	生産物の原価を計算できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	10	栽培品目毎に収支計算ができる。	A B C D E	A B C D E
	技能	11	栽培品目毎に損益分岐点分析ができる。	A B C D E	A B C D E
	技能	12	作業記録や生産結果、販売結果を分析し、改善方法を提案できる。	A B C D E	A B C D E

II 生産管理（林業）

項目		評価事項		評価基準	評価基準
		No	内容		
生産管理	知識・理解	1	生産計画を理解し、説明できる	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3	生産計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	4	作業記録を集計し、分析できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5	販売計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	6	販売計画に沿って販売が行われているか、確認できる。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	7	市場調査、市場分析をおこなって、必要な情報を集めている。	A B C D E	A B C D E
	技能	8	売上を確認し、計画との差を判断できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	9	生産物の原価を計算できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	10	品目毎に収支計算ができる。	A B C D E	A B C D E
	技能	11	品目毎に損益分岐点分析ができる。	A B C D E	A B C D E
	技能	12	作業記録や生産結果、販売結果を分析し、改善方法を提案できる。	A B C D E	A B C D E

II 生産管理（畜産）

項目		評価事項		評価基準	評価基準
		No	内容		
生産管理	知識・理解	1	生産計画を理解し、説明できる	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3	生産計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	4	作業記録を集計し、分析できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5	販売計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	6	販売計画に沿って販売が行われているか、確認できる。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	7	市場調査、市場分析をおこなって、必要な情報を集めている。	A B C D E	A B C D E
	技能	8	売上を確認し、計画との差を判断できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	9	生産物の原価を計算できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	10	品目毎に収支計算ができる。	A B C D E	A B C D E
	技能	11	品目毎に損益分岐点分析ができる。	A B C D E	A B C D E
	技能	12	作業記録や生産結果、販売結果を分析し、改善方法を提案できる。	A B C D E	A B C D E

Ⅲ 自分自身が頑張って取り組んでいること、困っていること

[]

(講義名) 報告書

学 年 _____

学生氏名 _____

実習先名 _____

研修期間 平成 年 月 日から

平成 年 月 日まで

[研修先]

農林業基礎・経営概況等（Ⅰ）

代表者名				
事業所名 (法人の場合)				
事業 内 容	設立年		資本金	
	従業員数		年間売上	
	主要事業内容			
区分		面積等		主要作物名等
水田		a		
普通畑		a		
施 設	ガラス室	棟	m ²	
	ハウス	棟	m ²	
樹 園 地	茶園	a	品種園 在来園 自園自製	
	果樹園	a	柑橘園 落葉果樹園 その他	
	果樹園	a	柑橘園 落葉果樹園 その他	
その他		a		
山林		ha		
家 畜	乳用牛	頭		
	肉用牛	頭		
	種豚	頭		
	肉豚	頭		
	鶏	羽	採卵鶏	ブロイラー
	その他			

社会的・職業的自立に関する指導等に関する体制図

